

(様式第 10)

金大病総第 41 号  
令和 2年 9月 30日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人金沢大学長  
山崎 光悦

国立大学法人金沢大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。  
記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒920-1192 石川県金沢市角間町
氏 名	国立大学法人金沢大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

国立大学法人金沢大学附属病院
----------------

3 所在の場所

〒920-8641 石川県金沢市宝町13番1号	電話(076)265-2000
----------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
--

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
① 呼吸器内科                      ② 消化器内科                      ③ 循環器内科                      ④ 腎臓内科 5 神経内科                          ⑥ 血液内科                          7 内分泌内科                      8 代謝内科 9 感染症内科                      10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科                      ⑪ リウマチ科	
診療実績 脳神経内科、内分泌・代謝内科	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していな

い診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 ①呼吸器外科                      2消化器外科                      ③乳腺外科                      4心臓外科 5血管外科                      ⑥心臓血管外科                      7内分泌外科                      ⑧小児外科	
診療実績 胃腸外科、肝臓・胆のう・膵臓・移植外科	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科   ②小児科   ③整形外科   ④脳神経外科   ⑤皮膚科   ⑥泌尿器科   ⑦産婦人科 8産科      9婦人科   ⑩眼科      ⑪耳鼻咽喉科   12放射線科   ⑬放射線診断科 ⑭放射線治療科   ⑮麻酔科   ⑯救急科
--

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1小児歯科   2矯正歯科   ③口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。  
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1形成外科、2腫瘍内科、3腫瘍外科、4漢方内科、5病理診断科、6リハビリテーション科
--

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
46床	床	床	床	792床	838床

## 6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	381人	138人	478.3人	看 護 補 助 者	39人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	11人	11人	18.5人	理 学 療 法 士	15人	臨床検査技師	59人
薬 剤 師	49人	2人	50.5人	作 業 療 法 士	7人	衛生検査技師	2人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	13人	そ の 他	0人
助 産 師	24人	0人	24人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	826人	6人	829.8人	臨 床 工 学 士	19人	医療社会事業従事者	8人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	16人
歯 科 衛 生 士	2人	0人	2人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	145人
管理栄養士	8人	1人	8.7人	診 療 放 射 線 技 師	39人	そ の 他 の 職 員	34人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

## 7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	69人	眼 科 専 門 医	11人
外 科 専 門 医	35人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	14人
精 神 科 専 門 医	6人	放 射 線 科 専 門 医	26人
小 児 科 専 門 医	18人	脳 神 経 外 科 専 門 医	11人
皮 膚 科 専 門 医	5人	整 形 外 科 専 門 医	13人
泌 尿 器 科 専 門 医	13人	麻 酔 科 専 門 医	18人
産 婦 人 科 専 門 医	16人	救 急 科 専 門 医	6人
		合 計	261人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

## 8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 蒲田 敏文 ) 任命年月日 平成28年4月1日

平成28年度から医療安全管理委員会の委員長として出席している。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	653.5人	5.7人	659.2人
1日当たり平均外来患者数	1,529.1人	77.5人	1,606.6人
1日当たり平均調剤数			1331.9 剤
必要医師数			158.1人
必要歯科医師数			5人
必要薬剤師数			22人
必要(准)看護師数			384人

(注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備	概 要		
集中治療室	462m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	22床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	347m <sup>2</sup>	病床数	27床	
	[移動式の場合]	台数	14台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床積	73m <sup>2</sup>			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	523m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 免疫発光測定装置、全自動免疫測定装置、ディスクリット方式臨床化学自動分析装置、検体前処理装置、蛋白分画電気泳動分析装置、免疫比濁測定装置、全自動電気泳動分析装置、迅速糖尿病生理機能検査装置、迅速糖化診断生理機能検査装置、自動浸透圧分析装置、乾式臨床化学分析装置、自動化学分析装置、大腸生理機能予備検査装置、総合生理機能検査前輸血支援システム、赤血球沈降速度測定装置、汎用血液ガス分析装置、血液検査システム、呼気中13C02分析装置、臨床検査支援システム、恒温器、血液検査装置、心疾患関連マーカー自動測定器システム、遠心機、蒸留水製造装置、尿化学分析装置、顕微鏡、精子特性分析機、マルチカラーフローサイトメトリー			
細菌検査室	94m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 血液培養装置、同定・薬剤感受性パネル自動測定装置、全自動細菌検査システム、クリーンベンチ、サーマルサイクラー、結核菌迅速診断装置、マイクロチップ電気泳動システム、嫌気ワークステーション、全自動遺伝子解析システム、遺伝子解析装置、恒温器、炭酸ガス培養装置、遠心機、乾熱滅菌器、高圧滅菌器、純水製造装置、顕微鏡、質量分析装置			

病理検査室	112m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動免疫染色装置、自動固定包埋装置、自動染色装置			
病理解剖室	134m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 無影灯、解剖台、計量器			
研究室	752m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 血液ガス分析装置、マイクロプレートリーダー、手術支援ロボット、超低温フリーザー、バイオハザード対象用キャビネット、遠心分離機、インキュベーター、高速タンパクブロッティングシステム、オートクレーブ、クリーンベンチ、顕微鏡、蛍光実体顕微鏡、薬用冷凍冷蔵庫、低温冷凍庫、ドラフト			
講義室	267m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	1室	収容定員	300人
図書室	166m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	2室	蔵書数	4,400冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	86.8%	逆紹介率	85.2%
算出根拠	A: 紹介患者の数		11,902人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,978人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		298人
	D: 初診の患者の数		14,060人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
長島 久	富山大学附属 病院	○	医療の質・安全推進部長として医療安全に関する業務に従事しているため	有・ <del>無</del>	1
麻生 小夜	金沢あおば法律事務所		弁護士として法律に関する専門知識に基づき、業務を行っているため	有・ <del>無</del>	1
和田 真由美	血液疾患の患者の会「萌の会」		「萌の会」の代表として活動しており、医療を受ける立場から意見を述べるができるため	有・ <del>無</del>	2
				有・無	
				有・無	
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	(有)・無
委員の選定理由の公表の有無	(有)・無
公表の方法 本院のWebサイトに掲載している。	





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 腹膜播種陽性または腹腔細胞診陽性の胃癌症例を対象として、S-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法の安全性と有効性を評価する。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	1	56	ベーチェット病	58
2	筋萎縮性側索硬化症	9	57	特発性拡張型心筋症	30
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	19
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	11	60	再生不良性貧血	117
6	パーキンソン病	67	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	3	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	8
8	ハンチントン病	3	63	特発性血小板減少性紫斑病	47
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	16
11	重症筋無力症	88	66	IgA腎症	21
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	17
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	53	68	黄色靱帯骨化症	12
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	13	69	後縦靱帯骨化症	54
15	封入体筋炎	1	70	広範脊柱管狭窄症	3
16	クドウ・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	77
17	多系統萎縮症	10	72	下垂体性ADH分泌異常症	12
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	19	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	9	74	下垂体性PRL分泌亢進症	5
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	2
21	ミトコンドリア病	6	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	24	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	20
23	プリオン病	3	78	下垂体前葉機能低下症	63
24	亜急性硬化性全脳炎	1	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	1	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	8
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	19	83	アジソン病	2
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	85
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	36
31	ペスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	21
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	18
34	神経線維腫症	14	89	リンパ脈管筋腫症	3
35	天疱瘡	14	90	網膜色素変性症	7
36	表皮水疱症	3	91	バッド・キアリ症候群	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	3	92	特発性門脈圧亢進症	2
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	59
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	6
40	高安動脈炎	23	95	自己免疫性肝炎	27
41	巨細胞性動脈炎	7	96	クローン病	139
42	結節性多発動脈炎	18	97	潰瘍性大腸炎	135
43	顕微鏡的多発血管炎	22	98	好酸球性消化管疾患	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	13	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	16	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	11	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	12	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	5	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	294	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	138	105	チャージ症候群	1
51	全身性強皮症	362	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	46	107	全身型若年性特発性関節炎	5
53	シェーグレン症候群	56	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	22	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	4	110	ブラウ症候群	1

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	11
113	筋ジストロフィー	3	163	特発性後天性全身性無汗症	2
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	1	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	4
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	2
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	3
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	1
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	1	208	修正大血管転位症	2
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	1	210	単心室症	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	2	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	1
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	2	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	1
222	一次性ネフローゼ症候群	25	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	271	強直性脊椎炎	23
224	紫斑病性腎炎	1	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	3	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	2	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	1	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	2
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	2
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	3	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	17
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	2
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	6

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
308	進行性白質脳症	0	322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310	先天異常症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	326	大理石骨病	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	6
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	328	前眼部形成異常	1
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	329	無虹彩症	1
316	カルニチン回路異常症	0	330	先天性気管狭窄症	0
317	三頭酵素欠損症	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	10
318	シトリン欠損症	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0			

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ハイリスク分娩管理加算
・歯科外来診療環境体制加算	・後発医薬品使用体制加算3
・歯科診療特別対応連携加算	・病棟薬剤業務実施加算1
・特定機能病院入院基本料(一般病棟)	・病棟薬剤業務実施加算2
・特定機能病院入院基本料(精神病棟)	・データ提出加算
・救急医療管理加算	・入退院支援加算1
・超急性期脳卒中加算	・入院時支援加算
・診療録管理体制加算1	・精神疾患診療体制加算
・医師事務作業補助体制加算1(50対1)	・精神科急性期医師配置加算
・急性期看護補助体制加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・看護職員夜間配置加算1(12対1)	・特定集中治療室管理料2
・療養環境加算	・早期離床・リハビリテーション加算
・重症者等療養環境特別加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・無菌治療室管理加算1. 2	1. 母体・胎児集中治療室管理料
・緩和ケア診療加算	2. 新生児集中治療室管理料
・精神科応急入院施設管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神病棟入院時医学管理加算	・小児入院医療管理料2
・精神科身体合併症管理加算	
・精神科リエゾンチーム加算	
・摂食障害入院医療管理加算	
・栄養サポートチーム加算	
・医療安全対策加算1	
・感染防止対策加算1 感染防止対策地域連携加算あり 抗菌薬適正使用支援加算あり	
・患者サポート体制充実加算	
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
・ハイリスク妊娠管理加算	

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料(遠隔モニタリング加算)	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・高度難聴指導管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
・糖尿病合併症管理料	・遺伝学的検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・骨髄微小残存病変量測定
・がん患者指導管理料イ	・BRCA1/2遺伝子検査
・がん患者指導管理料ロ	・がんゲノムプロファイリング検査
・がん患者指導管理料ハ	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)
・外来緩和ケア管理料	・抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・移植後患者指導管理料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・検体検査管理加算(IV)
・糖尿病透析予防指導管理料	・国際標準検査管理加算
・高度腎機能障害患者指導加算	・遺伝カウンセリング加算
・婦人科特定疾患治療管理料	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・腎代替療法指導管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・院内トリアージ実施料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・外来放射線照射診療料	・胎児心エコー法
・ニコチン依存症管理料	・ヘッドアップティルト試験
・がん治療連携計画策定料	・人工臓臓検査
・肝炎インターフェロン治療計画料	・皮下連続式グルコース測定
・薬剤管理指導料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・医療機器安全管理料1	・神経学的検査
・医療機器安全管理料2	・補聴器適合検査
・医療機器安全管理料(歯科)	・黄斑局所網膜電図
・精神科退院時共同指導料2	・全視野精密網膜電図
・歯科治療総合医療管理料	・ロービジョン検査判断料
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・小児食物アレルギー負荷検査

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・内服・点滴誘発試験	・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)
・センチネルリンパ節生検(片側)	・人工腎臓
・有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査	・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
・有床義歯咀嚼機能検査2の口及び咬合能力検査	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・画像診断管理加算3	・CAD/CAM冠
・遠隔画像診断	・歯科技工加算
・CT撮影及びMRI撮影	・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・冠動脈CT撮影加算	・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
・心臓MRI撮影加算	・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・乳房MRI撮影加算	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・小児鎮静下MRI撮影加算	・椎間板内酵素注入療法
・頭部MRI撮影加算	・腫瘍脊椎骨全摘術
・全身MRI撮影加算	・脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・外来化学療法加算1	・角膜移植術(内皮移植加算)
・無菌製剤処理料	・羊膜移植術
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・運動器リハビリテーション料(I)	・網膜再建術
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・人工中耳植込術
・がん患者リハビリテーション料	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・精神科作業療法	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術
・医療保護入院等診療料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・体外衝撃波胆石破碎術
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下肝切除術
・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・生体部分肝移植術
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・同種死体肝移植術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・体外衝撃波膵石破碎術(一連につき)
・胸腔鏡下弁形成術	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術及び腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・経皮的カテーテル大動脈弁置換術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・同種死体腎移植術
・補助人工心臓	・生体腎移植術
・経皮的下肢動脈形成術	・膀胱水圧拡張術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・人工尿道括約筋植込・置換術
	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・腹腔鏡下膣式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)	・
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・
・医科点数表第2章第10部 手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	・
・医科点数表第2章第10部 手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術に限る。)	・
・輸血管理料Ⅱ	・
・コーディネート体制充実加算	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・麻酔管理料(Ⅰ)	・
・麻酔管理料(Ⅱ)	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・定位放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・
・画像誘導密封小線源治療加算	・
・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	・
・病理診断管理加算2	・



(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
内因性免疫による頭頸部ウイルス発症における内分泌視乱物質の関与と新規治療法の開発	近藤 悟	附属病院	1,800,000	補委 日本学術振興会
唾液中に及び口腔内細菌叢解析に基づく腎臓病の病態評価とバイオマーカー開発	中出 祐介	附属病院	1,200,000	補委 日本学術振興会
環境及び併存疾患がIgG4関連疾患の発症進展に与える影響	藤井 博	附属病院	900,000	補委 日本学術振興会
肺癌における早期エピゲノム診断を旨としたマイクロRNA発現異常領域の同定	大坪 公士郎	附属病院	600,000	補委 日本学術振興会
呼吸器病液を用いた慢性咳嗽の診断法の確立、病態評価、難治化因子の解明	原 丈介	附属病院	1,050,000	補委 日本学術振興会
アポトーシス抵抗性に起因する変異型選択的EGFR-TKI耐性克服治療の開発	竹内 伸司	附属病院	1,300,000	補委 日本学術振興会
細胞骨格依存性シグナルの腎線維化にはたす意義	坂井 宣彦	附属病院	1,200,000	補委 日本学術振興会
モデルマウスを用いた硬膜移植による脳βアミロイドンシの個体間伝播についての研究	濱口 毅	附属病院	1,000,000	補委 日本学術振興会
自己免疫性造血不全におけるdel(13q)クロソーム活性化機序の解明	石山 謙	附属病院	1,300,000	補委 日本学術振興会
FLUVA処理した制御性樹状細胞の更なる免疫抑制増強の試み:新たなGVHD治療戦略	前馬 秀昭	附属病院	1,600,000	補委 日本学術振興会
新規PETトレーサーF18-FDSを用いた腎PET画像診断法の確立	若林 大志	附属病院	1,200,000	補委 日本学術振興会
肝細胞癌の分子・遺伝子的亜分類に基づいたradiogenomics	北尾 梓	附属病院	700,000	補委 日本学術振興会
大腸癌における循環腫瘍DNAを用いたEGFR抗体薬耐性の検出と個別化治療への応用	中村 慶史	附属病院	600,000	補委 日本学術振興会
微弱磁場冷却装置を使用した新しい移植保存法の基礎的研究	木村 圭一	附属病院	730,000	補委 日本学術振興会
乳癌患者におけるタモキシフェン投与の子宮内膜着床能に及ぼす影響と作用機序の解析	山崎 玲奈	附属病院	600,000	補委 日本学術振興会
リンパ管奇形に対する漢方薬による制御メカニズムの解明	小川 恵子	附属病院	750,000	補委 日本学術振興会
心停止後症候群モデルにおけるケミカルシャペロンの効果	岡島 正樹	附属病院	700,000	補委 日本学術振興会
口腔癌の高浸潤性獲得メカニズムと微小管の関連解析	北原 寛子	附属病院	600,000	補委 日本学術振興会
膝蓋大腿関節症モデルラットの確立と力学的負荷がもたらす病理組織学的変化	高橋 郁文	附属病院	250,000	補委 日本学術振興会
極低出生体重児における神経発達障害と脳内ネットワークの関連	三谷 裕介	附属病院	1,100,000	補委 日本学術振興会
自己の腹膜を利用した腹膜メッシュによる消化管再建の基礎的研究	森山 秀樹	附属病院	800,000	補委 日本学術振興会
末梢血白血球遺伝子情報に基づく慢性腎臓病における睡眠覚醒障害の検討	北島 信治	附属病院	900,000	補委 日本学術振興会
統合失調症の急性期におけるオープンダイアログを用いた介入について	金田 礼三	附属病院	750,000	補委 日本学術振興会
癌幹細胞により制御される肝癌間質細胞社会の解明	山下 太郎	附属病院	3,900,000	補委 日本学術振興会
ウェアラブルセンサーを用いた思春期うつ状態の早期発見	小野 靖樹	附属病院	300,000	補委 日本学術振興会
マクロファージ活性化症候群の病態解明とL-18を標的とした新規治療法の確立	清水 正樹	附属病院	1,200,000	補委 日本学術振興会
発癌と炎症を促進するEnterococcus属を取り巻く腸内環境の解明	飯田 宗徳	附属病院	900,000	補委 日本学術振興会
潰瘍性大腸炎における移植便中細菌の定着に関わる免疫機構の研究	北村 和哉	附属病院	1,200,000	補委 日本学術振興会
CD271陽性細胞の血管リモデリング制御機能の解析	高島 伸一郎	附属病院	1,200,000	補委 日本学術振興会
遺伝性不整脈の新規原因遺伝子の同定と不整脈発症機序の解明および有効治療薬の決定	林 研至	附属病院	1,460,000	補委 日本学術振興会

(¥31,790,000)  
小計 30件

IgG4関連腎臓病への自然免疫の関わりと新規治療ターゲットの探索	伊藤 清亮	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
難治性再生不良性貧血におけるトロンボポエチン受容体作動薬の効果反応予測因子の同定	山崎 宏人	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
MRSAの網羅的遺伝子情報を基としたバイオフィルム形成過程の病態解明	岩田 恭直	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
内胸動脈周囲組織がグラフト血管内皮機能に与える影響に関する研究	飯野 賢治	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
人工呼吸中の患者とのコミュニケーション方法と精神ストレス指標の確立	佐藤 康次	附属病院	1,250,000	補委	日本学術振興会
多孔質足場とフローダイバーターによる動脈瘤の血栓化および開口部新生内膜の誘導実験	内山 尚之	附属病院	450,000	補委	日本学術振興会
骨肉腫幹細胞モデルにおけるmiR-34aの役割と治療ターゲットの可能性の解析	武内 章彦	附属病院	1,350,000	補委	日本学術振興会
進行性下顎頭吸収の病態と発症原因の解明	大井 一浩	附属病院	1,180,000	補委	日本学術振興会
医師養成課程における臨床実習後客観的臨床能力試験の信頼性向上に関する研究	野村 英樹	附属病院	70,000	補委	日本学術振興会
腫瘍免疫における制御性T細胞の役割および作用機序についての解析	小林 忠弘	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
世界最速の高速原子間力顕微鏡による $\alpha\beta$ 凝集体の形成過程の解明	中野 博人	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
有限要素法シミュレーションによるEVAR術後の長期的影響に関する流体力学的解明	濱口 隆史	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
光音響イメージングを用いた脳組織酸素飽和度画像化による脳虚血予測への応用	出雲崎 晃	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
エリート脂肪幹細胞を用いた新規micro RNAの同定と血管新生療法への応用	井上 己音	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
癌転移における好中球細胞外トラップ(NETs)の機能解析	岡崎 充善	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
変動磁場冷却保存装置による大動物の零度以下心臓保存法の研究	加藤 寛城	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
くも膜下出血 EBI と小脳体ストレス応答 UPR の関連についての検討	吉川 陽文	附属病院	1,800,000	補委	日本学術振興会
マウス胎盤形成時の脱落膜に出現する新規のGFAP/S100 $\beta$ 陽性細胞の機能解析	鏡 京介	附属病院	1,700,000	補委	日本学術振興会
凝固系カスケードを利用した卵巣癌細胞集塊の腹膜播種戦略機序の解明	松岡 歩	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
Laeviginを指標とした胎児・胎盤循環幹細胞の機能解析	松本 多圭夫	附属病院	1,700,000	補委	日本学術振興会
発達期聴覚中枢におけるミクログリアに焦点をあてた自閉症モデルマウスの解析	野田 昌生	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
顎関節症/滑膜炎誘導機序の解明	小林 一彦	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
がん抑制遺伝子HNF-4 $\alpha$ の再活性化による肝がん分化誘導療法の研究	山下 太郎	附属病院	2,400,000	補委	日本学術振興会
便細菌叢移植による腸内細菌叢の変化	岡藤 啓史	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
児童青年期の強迫性障害に対する家族介入を伴う認知行動療法の有効性の検討	紺谷 恵子	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
がん微小環境における線維芽細胞の細胞老化を介した腫瘍抑制に関する基礎的研究	岡本 浩一	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
難治疾患の肝FVODにおけるTMA病態関与の解明と新規治療法の開発	中沼 伸一	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
大腸癌における腫瘍関連マクロファージの発現解析と治療への応用	稲垣 聡子	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
唾液中のシクロホスファミド濃度と口腔粘膜の関連性についての検討	志村 裕介	附属病院	540,000	補委	日本学術振興会
機会学習を用いた術中MEPモニタリング施行症例における術後麻痺予測モデルの構築	油野 岳夫	附属病院	340,000	補委	日本学術振興会

(¥32,380,000)  
小計 30件

加齢による薬物体内動態の個人間変動予測の新機軸	崔 吉道	附属病院	500,000	補委	日本学術振興会
血中遊離DNA遺伝子変異プロファイルを用いたがん患者モニタリング法の確立	木村 英晴	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
エンベロープ改変レンチウイルスを用いた新規遺伝子治療前臨床試験モデルの樹立	伊川 泰広	附属病院	1,700,000	補委	日本学術振興会
脳アミロイドアンギオパチー関連炎症動物モデルの作成と病態解析	坂井 健二	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
分化型甲状腺癌に対する放射性ヨウ素内用療法 of 超早期治療効果予測	萱野 大樹	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
新生児ヘモクロトーシスの原因となるアロ抗体の同定と病態発症機序の解明	谷内江 昭宏	附属病院	1,500,000	補委	日本学術振興会
CD271陽性エリート細胞を標的とした肺高血圧症に対する新規治療開発	薄井 荘一郎	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
ヒト心筋生検検体を用いたRNA-Seqによる心臓サルコイドーシスの病態解明	吉田 昌平	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
網羅的遺伝子解析によるリガ蛋白(a)代謝新規関連分子の探索とその機能解析	多田 隼人	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
サイトカイン産生B細胞の制御による強皮症の新規治療法の開発	松下 貴史	附属病院	2,000,000	補委	日本学術振興会
胃癌腹膜播種における脂質代謝変容の解明と標的治療への応用	木下 淳	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
ラットHUSモデルにおける新たな治療法の検討	栗田 昭英	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
DLICにおける病型別の炎症と凝固の相互作用と血管作動性物質の意義	朝倉 英策	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
広範囲骨椎固定におけるインプラント緩み抑制のための新たな生体材料・固定方法の構築	出村 諭	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
Y染色体微小重複が男性不妊症に与える影響-Y染色体は微小欠失だけでは不十分	飯島 将司	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
ジゼルヘンによる前立腺癌進展抑制機構の解明と新規化合物の開発	泉 浩二	附属病院	1,350,000	補委	日本学術振興会
ARシグナルの遮断によって活性化する前立腺癌増悪因子の探索と転移指向性の解明	野原 隆弘	附属病院	100,000	補委	日本学術振興会
膜リズムによる子宮収縮制御機構に着目した産婦人科疾患予防法の探索	小野 政徳	附属病院	500,000	補委	日本学術振興会
凝固系をターゲットとした卵巣癌腹膜播種機序の解明と治療戦略に関する基礎的研究	水本 泰成	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌に対する癌代謝制御に基づく革新的治療技術の確立	遠藤 一平	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
PAX2ヘテロ遺伝子異常から読み解く内耳発生機構	杉本 寿史	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
力学的尺度で癌腫を評価する試みと、その計測装置開発のための研究	八幡 徹太郎	附属病院	400,000	補委	日本学術振興会
低線量X線動画像イメージングによる新しい肺機能診断法の創出と臨床応用	田村 昌也	附属病院	350,000	補委	日本学術振興会
睡眠時無呼吸症候群患者における持続陽圧呼吸療法 of 交感神経活動抑制効果に関する検討	濱岡 卓人	附属病院	2,300,000	補委	日本学術振興会
プロトン磁気共鳴分光法による肝腫瘍のインクエン酸デヒドロゲナーゼ変異の網羅的検討	油野 裕之	附属病院	1,500,000	補委	日本学術振興会
MRIを用いた新しい肝線維化評価法の確立	小野田 農	附属病院	1,800,000	補委	日本学術振興会
小児がん治療の致命的合併症である肝中心静脈閉塞症候群の病態解明と新規治療法の開発	酒井 清祥	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
単一細胞解析を用いた脂肪肝炎関連肝癌における抗腫瘍免疫の解明	北原 征明	附属病院	2,000,000	補委	日本学術振興会
家族性高コレステロール血症におけるIPS細胞由来肝細胞の細胞移植治療に関する検討	岡田 寛史	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
肺動脈性肺高血圧症におけるNG2陽性細胞の機能的解析	五天 千明	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会

(¥33,600,000)  
小計 30件

乾癬の病態における制御性B細胞の役割の解明	水牧 貴恵	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
強皮症線維化モデルマウスにおけるFcγレセプターIIbの役割の検討	澤田 香織	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
HLA-B*54:01陽性造血不全患者における免疫病態の解明	細川 晃平	附属病院	2,100,000	補委	日本学術振興会
モデルマウスを用いたIgG4関連動脈/後腹膜疾患特異的病態の解明と治療法の確立	水島 伊知郎	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
ステロイドメタボロミクス解析による生活習慣病発症バイオマーカーの探索的研究	唐島 成宙	附属病院	2,300,000	補委	日本学術振興会
糖尿病関連へトカイン発現のマスターレギュレーターの同定とその機能解析	金森 岳広	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
機能性副腎腫瘍のゲノム・エピゲノム解析とAIによる新規診断法の確立	米谷 充弘	附属病院	2,100,000	補委	日本学術振興会
微弱電磁場と不凍糖タンパクを用いた低温心保存法	鷹合 真太郎	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
ブタモデルにおけるビタミンB2ワシヨット肺マーカー法の確立	齋藤 大輔	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
心肺停止後症候群の予後における脳障害の経時的炎症病態と多元的評価	中村 美穂	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
悪性神経膠腫におけるエクソソーム内WT1のSUMO化による作用の解析	木村 亮堅	附属病院	1,800,000	補委	日本学術振興会
大型脳動脈瘤に対するフローダイバーターを用いた新規治療プロトコルの提唱	南部 育	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
CD38 によるくも膜下出血後の予後改善に関する検討	中尾 庸人	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
自家海綿骨と自家脂肪由来再生細胞の併用による骨癒合促進の試み	濱田 知	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
立位MRI・動態超音波評価を用いた早期変形性膝関節症に対する新しい評価方法の開発	下崎 研吾	附属病院	2,400,000	補委	日本学術振興会
破骨細胞に影響を与える骨肉腫細胞由来エクソソーム内分子の解明	荒木 麗博	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
前立腺癌リンパ節転移内の免疫環境による転移促進機構の解明	八重樫 洋	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
子宮体癌自然発症マウスを用いた時計遺伝子異常による癌発生と進展誘導機構の解析	中出 恭平	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
p53とFoxp4発現を指標とした子宮体部頸内膜癌の新しい術前悪性度診断法の開発	折坂 俊介	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
EBウイルス関連microRNAによる上咽頭癌治療後の予後推定法の開発	青木 由宇	附属病院	1,900,000	補委	日本学術振興会
上咽頭癌におけるSemaphorin3Aの関与と治療への応用	加瀬 希奈	附属病院	1,900,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌血中循環腫瘍細胞の基礎的検討	上野 貴雄	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
上咽頭癌腫瘍微小環境におけるエクソソームを介した免疫寛容機構の解明	阿河 光治	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
将来を予測する地域脳健診での認知症と口腔機能の関連解析	石宮 舞	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
肝腫瘍画像診断の標準化法における病理組織学的根拠の確立とテクニカル解析の応用	五十嵐 紗耶	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
MMPsを介した口頭頸部扁平上皮癌の微小環境におけるPD-L1の調節機構	宮澤 真優子	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
化学療法誘発性末梢神経障害におけるグリア細胞を介した病態を解明し治療へと展開する	川上 正晃	附属病院	1,500,000	補委	日本学術振興会
糖尿病による骨癒合遅延を解消する挑戦的治療の開発	松原 秀憲	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
マクロファージ活性化症候群の新規治療を目指した網羅的免疫学的解析	井上 なつみ	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
再発転移性頭頸部扁平上皮癌の微小環境での免疫抑制機構の解明と制御	小林 泰	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会

(¥42,300,000)  
小計 30件

尿管障害におけるRAGE分子種の機能的役割	宮川 太郎	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
チーム医療による生活指導効果のビッグデータ解析	小倉 央行	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
子宮体部癌内腫瘍に対するFoxp4転写因子の増悪化誘導作用の検証とその機序の解明	小幡 武司	附属病院	1,900,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌悪性転移に寄与するBMP9分子機構の解明と新規治療法の開発	丹尾 幸樹	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
心房細動における心腎連関の機序解明	加藤 武史	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
Wnt/ $\beta$ -catenin経路を介した分子標的治療の開発と抗腫瘍メカニズムの解明	山本憲男	医薬保健学総合研究科	1,100,000	補委	日本学術振興会
脂肪由来幹細胞の細胞シートによる末梢神経の再生に関する研究	多田 薫	医学系	600,000	補委	日本学術振興会
慢性肝疾患の生体から獲得される脂肪組織由来間葉系幹細胞の肝修復再生能解析	酒井佳夫	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
B型肝炎ウイルスが引き起こす肝組織構成細胞の変化と癌化の解明	川口和紀	医学系	800,000	補委	日本学術振興会
肺癌におけるMet遺伝子を標的とした個別化療法の確立	笠原寿郎	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
地域高齢者におけるプレクリニカルCAAに関する前向き縦断研究	篠原もえ子	医薬保健学総合研究科	400,000	補委	日本学術振興会
CIK細胞と培養胎満細胞を併用し人為的抗腫瘍効果を増強させた造血幹細胞移植の開発	荒木来太	医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
全身性強直症におけるEffector B細胞の役割についての検討	竹原和彦	医学系	550,000	補委	日本学術振興会
心筋梗塞後の病態変化と左室リモデリング予測に関する機序的生体分子イメージング研究	瀧淳一	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
肝腫瘍に対する局所ならびに肝動脈内免疫活性化因子注入による抗腫瘍効果についての研究	蒲田敏文	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
Notchシグナルの核内転写因子RBP-1抑制によるグリオーマ幹細胞の制御	田中慎吾	医学系	600,000	補委	日本学術振興会
次世代覚醒下脳手術を応用した共感性ネットワークの解明と温存	木下雅史	医学系	500,000	補委	日本学術振興会
放射線照射が脊髄転移の局所進展様式に与える影響一特に硬膜バリア機構に着目して一	村上英樹	医学系	700,000	補委	日本学術振興会
骨軟部腫瘍切除後欠損に対する脂肪由来幹細胞再生医療の新たなアプローチ	林克洋	医薬保健学総合研究科	1,100,000	補委	日本学術振興会
新規末梢血癌細胞検出法を応用した泌尿器癌転移に関するバイオマーカーの開発	北川育秀	医学系	500,000	補委	日本学術振興会
免疫チェックポイントを標的とした去勢抵抗性前立腺癌に対する複合がん免疫療法の構築	小中弘之	医学系	250,000	補委	日本学術振興会
眼圧日内変動リズムにおける発振メカニズムの解明	杉山和久	医学系	800,000	補委	日本学術振興会
患者B細胞を用いたモノクローナル抗体作製とその臨床応用	高松博幸	医学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
重症筋無力症の病態における免疫チェックポイント分子の関与と新たな治療薬への応用	岩佐和夫	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
DOCK11ノックダウンによりcccDNA排除の新規抗HBV治療応用への基礎研究	李影奕	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
肝がんのがんエコシステム解析に基づく新規治療標的分子探索	山下竜也	先進予防医学研究センター	850,000	補委	日本学術振興会
家族性高コレステロール血症網羅的遺伝子解析スキームの樹立	山岸正和	医学系	500,000	補委	日本学術振興会
免疫沈降法による膠原病患者血清中の自己抗体の同定と臨床的特徴の検討	濱口儒人	医学系	700,000	補委	日本学術振興会
骨組織におけるインスリン・IGF1シグナル抵抗性とセレブリンPの関係	石井清朗	医薬保健学総合研究科	1,400,000	補委	日本学術振興会
血小板の上皮化促進作用に対する子宮体癌の不受性獲得機序の解明とその責任分子の同定	明星須晴	医学系	250,000	補委	日本学術振興会

(¥27,000,000)  
小計 30件

院外心停止に対する高齢化社会に適した現場蘇生中止基準の開発に関する研究	後藤由和	医学系	900,000	補委	日本学術振興会
社会的相互作用や生活環境が、子どもの認知機能や社会能力に与える影響	齋藤大輔	子どものこころの発達研究センター	1,500,000	補委	日本学術振興会
IVRとナノメディシンの併用によるがんターゲットングおよび微小環境の制御	香田渉	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
テクスチャ解析によるビッグデータを用いたMRIによる前立腺癌診断能の向上	吉田耕太郎	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
網羅的遺伝子解析技術を用いた家族性高コレステロール血症の遺伝子診断	川尻剛照	医学系	1,300,000	補委	日本学術振興会
連続肝生検組織を用いた非アルコール性脂肪性肝疾患の病理進展因子の同定	竹下有美枝	医学系	1,700,000	補委	日本学術振興会
生体内分子イメージングによる肉腫進展機序の解明	土屋弘行	医学系	700,000	補委	日本学術振興会
新しい角膜内皮移植術(DMEK)の合併症の克服と術後角膜の生体組織学的特長の解析	小林顕	医学系	1,400,000	補委	日本学術振興会
高齢者院外心停止の蘇生処置不要の事前指示を救急現場で受け入れる根拠の作成	舟田晃	医学系	1,300,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌末梢循環腫瘍細胞の量的質的解析を目的とした捕捉チップ開発に関する研究	吉崎智一	医学系	1,400,000	補委	日本学術振興会
肝臓-骨格筋連関を標的とした運動効果増強薬の開発	篁俊成	医学系	1,600,000	補委	日本学術振興会
高次脳機能局在に基づく右前頭葉腫瘍に対する抽出限界策定の試み	中田光俊	医学系	2,000,000	補委	日本学術振興会
脳神経外科手術による統覚性脳アミロイドアンギオパチー	山田正仁	医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
胚シグナルに対する免疫応答異常を共通の病因とする新しい疾患群の同定と解析	藤原浩	医学系	300,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌に対する腫瘍局所の抗腫瘍免疫反応の意義の解明	寺島健志	先進予防医学研究センター	1,300,000	補委	日本学術振興会
新規ミトコンドリア関連分子USMG5が拡張型心筋症の発症進展に与える機序の解明	永田庸二	医学系	800,000	補委	日本学術振興会
自閉スペクトラム症児における対話活動中の脳内ダイナミクス、母親と他者との比較研究	長谷川千秋	子どものこころの発達研究センター	1,100,000	補委	日本学術振興会
腸管虚血再灌流における腸管組織酸素飽和度の画像化と子後予測への応用	小森隆弘	医学系	800,000	補委	日本学術振興会
抗原特異的T細胞受容体を用いた肝癌治療に関する検討	玉井利克	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
新規骨髄由来線維化誘導細胞を介したANCA関連血管炎における臓器線維化機序の解明	相良明宏	医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
皮膚虚血再灌流障害モデルにおけるサイトカインの役割の研究	前田進太郎	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
ヘパトカインセレノプロテインPによる適応熱産生障害機構の解明	高山浩昭	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
オリジナルの脂肪由来幹細胞シートを用いた骨欠損再建法の開発	宇賀治修平	医学系	1,400,000	補委	日本学術振興会
男性尿路ヒトパピローマウイルス感染の自然史の解明	中嶋一史	医学系	1,300,000	補委	日本学術振興会
感染によるAPOBEC発現を介した遺伝子変異誘導とCIN進行機構の解明	飯塚崇	医学系	1,700,000	補委	日本学術振興会
咽頭上皮におけるEBウイルスによるオートファジー誘導の生物学的意義の解明	石川和也	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
高転移性高浸潤性口腔癌の微小環境での腫瘍免疫調節機構の解明	平井真理子	医学系	1,600,000	補委	日本学術振興会
PETを用いたウェイトリフティング競技における全身骨格筋活動の検索	高田泰史	医学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
三次元解析による精子形成障害メカニズムの解明	仲田浩規	医学系	2,100,000	補委	日本学術振興会
腎血流と腎酸素飽和度の画像評価による造影剤腎症の病態解明と経動脈的治療法の開発	奥村健一郎	医学系	1,600,000	補委	日本学術振興会

(¥38,300,000)  
小計 30件

腸内細菌・ウイルス叢の変化と糖尿病・高血圧・NASH改善との関連性の経時的評価	林智之	先進予防医学研究科	1,200,000	補委	日本学術振興会
肝線維化を伴う肝発がん・再発の新規治療標的因子の機能解析	岡田光	医薬保健学総合研究科	1,900,000	補委	日本学術振興会
Integrinを標的とした糸球体硬化進展の新規機序解明と特異的治療の開発	原怜史	医学系	700,000	補委	日本学術振興会
多発性筋炎モデルマウスに対するSelectin阻害剤の治療効果の検討	大石京介	医学系	1,300,000	補委	日本学術振興会
EBV関連リンパ増殖性疾患発症とKIRの関連	岩城憲子	医学系	1,600,000	補委	日本学術振興会
胃癌腹膜播種における腹腔内微小環境の免疫担当細胞の役割と機能解析	山口貴久	医学系	700,000	補委	日本学術振興会
グラファイトシートを弁尖に用いた大動脈弁再建術に関する基礎研究	山本宜孝	医学系	2,400,000	補委	日本学術振興会
エクソソームを介した神経膠腫における環境整備機構の解明と新規治療の開発	筒井泰史	医学系	1,900,000	補委	日本学術振興会
悪性神経膠腫のアクアリン1発現意義の解明と機能制御による新規治療への応用	大石正博	医学系	1,700,000	補委	日本学術振興会
軟骨分化誘導させた脂肪由来幹細胞シートによる変形性膝関節症の軟骨再生	上野琢郎	医学系	800,000	補委	日本学術振興会
光干渉断層計をもちいた前視野緑内障の早期発見についての研究	竹本大輔	医学系	700,000	補委	日本学術振興会
高骨親和性新規ブラチナ製剤を用いたシスプラチン抵抗性難治性骨肉腫の新規治療開発	五十嵐健太郎	医薬保健学総合研究科	1,100,000	補委	日本学術振興会
IPS細胞由来間葉系幹細胞の免疫修飾作用を用いた炎症性腸疾患の治療効果と機序解明	関晃裕	医学系	800,000	補委	日本学術振興会
肝硬変における炎症細胞社会の解明	金子周一	医学系	13,800,000	補委	日本学術振興会
進行性腎障害における慢性炎症の意義とそれに立脚した分子予防学の構築	和田隆志	医学系	11,100,000	補委	日本学術振興会
上咽頭癌発癌ならびに多様性獲得分子機構の解析と新規治療法の開発	吉崎智一	医学系	3,900,000	補委	日本学術振興会
嗜好食品による抗老化作用と認知機能促進の分子基盤及び機能的形態学的機序の解明	杉本直俊	医学系	1,650,000	補委	日本学術振興会
Aβ凝集体の個体間伝播とその制御に関する研究	山田正仁	医学系	1,310,000	補委	日本学術振興会
酸化・還元バランスの破綻による糖尿病病態形成機構の解明	篁俊成	医学系	2,500,000	補委	日本学術振興会
統合失調症における免疫炎症過程亢進と大脳皮質ニューロンの変化	三辺義雄	子どものこころの発達研究センター	3,100,000	補委	日本学術振興会
自閉スペクトラム症幼児の症状多様性に対応する生物学的指標の検討	菊知充	医学系	3,000,000	補委	日本学術振興会
前立腺癌微小環境内での細胞間クロストークをターゲットとした革新的治療薬の開発	溝上敦	医学系	2,650,000	補委	日本学術振興会
免疫系を介した胚着床誘導機構の解明－胚シグナルの同定と機能解析－	藤原浩	医学系	700,000	補委	日本学術振興会
Epstein-Barrウイルスによる細胞老化関連分泌形質誘導機構の解明	脇坂尚宏	医学系	2,800,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌におけるネオアンチゲンの同定と遺伝子改変T細胞による免疫療法の開発	水腰英四郎	医学系	3,200,000	補委	日本学術振興会
悪性神経膠腫由来のエクソソームを介したミクログリアによる微小環境整備の解明	中田光俊	医学系	3,700,000	補委	日本学術振興会
キラアミノ酸による糖尿病性腎症の病態解明と新規バイオマーカー開発	和田隆志	医学系	2,000,000	補委	日本学術振興会
統合失調症の抑制性介在ニューロン変化へのμ型オピオイド受容体の関与	橋本隆紀	医学系	4,000,000	補委	日本学術振興会
高リスク化学療法不応性神経芽腫に対する新治療戦略の開発	絹谷清剛	医学系	3,000,000	補委	日本学術振興会
再生不良性貧血におけるHLAクラスIIアルレル拘束性自己抗原の同定	中尾眞二	医学系	5,770,000	補委	日本学術振興会

(¥84,980,000)  
小計 30件

食用油に由来するヒドロキシノネールが生活習慣病を惹起する機序	山嶋哲盛	医学系	2,700,000	補委	日本学術振興会
自閉症幼児の母子インタラクション中の神経ネットワーク解析による診断指標の確立	長谷川千秋	子どものこころの発達研究センター	900,000	補委	日本学術振興会
地域高齢者の認知機能低下に対する趣味および仕事の影響の性差に関する前向き縦断研究	堀本真以	医学系	540,000	補委	日本学術振興会
高骨質性新規プラチナ製剤を用いたスズランゲン抵抗性難治性骨肉腫の新規治療開発	五十嵐健太郎	医薬保健学総合研究科	612,420	補委	日本学術振興会
長軸部位を考慮した麻用性筋萎縮予防介入の効果検証	山崎 俊明	保健学系	600,000	補委	日本学術振興会
低線量X線動画イメージングによる肺機能診断法の開発	田中 利恵	保健学系	900,000	補委	日本学術振興会
膠原病患者の運動中の心機能応答についての縦断的研究	染矢 富士子	保健学系	500,000	補委	日本学術振興会
急性相反応物質としてのFactor XIII-Aの活性化と創傷治癒機構の作動	杉谷 加代	保健学系	900,000	補委	日本学術振興会
IPS細胞由来iPS造血幹細胞を用いた自己免疫性造血不全の発症機序の解明	片桐 孝和	保健学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
心電図同期心筋SPECT画像の精度管理を目的とした三次元心臓動態ファントムの開発	小野口 昌久	保健学系	700,000	補委	日本学術振興会
肥大型心筋症および類縁疾患の発症・進展・予後に関する分子遺伝学的研究	藤野 陽	保健学系	390,000	補委	日本学術振興会
デュアルエネルギーCTのエネルギー領域に対応した人体組織等価ファントム物質の開発	市川 勝弘	保健学系	800,000	補委	日本学術振興会
拡散・造影MRIとデューブラーニングを併用したスーパーハイブリッド乳癌悪性度解析	川島 博子	保健学系	450,000	補委	日本学術振興会
IgG4関連血管病変の進展・予後因子の解明	笠島 里美	保健学系	300,000	補委	日本学術振興会
クロコ折モデルによる破骨細胞産生新規カップリング因子の同定と分泌時相の解明	北村 敬一郎	保健学系	1,400,000	補委	日本学術振興会
ヘムオキシゲナーゼ-1が造血幹細胞移植後治療成績におよぼす効果と新規治療戦略	森下 英理子	保健学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
進行肝臓病患者に対するMRIを用いた早期肝細胞癌スクリーニング手技の確立	小林 聡	保健学系	900,000	補委	日本学術振興会
CT撮影における多段階線量評価法の開発と評価	松原 孝祐	保健学系	650,000	補委	日本学術振興会
副作用が懸念される薬物の腎尿管分泌機序の解明と新規腎機能核医学画像測定法の開発	小林 正和	保健学系	650,000	補委	日本学術振興会
プロテインS/Aer受容体型チロシンキナーゼによる妊娠維持機構の解明	關谷 暁子	保健学系	1,070,000	補委	日本学術振興会
乳児の泣きに着目した育児支援プログラムの効果検証	田淵 紀子	保健学系	385,000	補委	日本学術振興会
周産期女性のウェルネスケアシステム構築と血中ストレス関連物質に基づく効果の検証	鏡(関塚) 真美	保健学系	565,000	補委	日本学術振興会
臨床用グリフアティックMRIの開発	宮地 利明	保健学系	980,000	補委	日本学術振興会
末梢動脈疾患・ハイリスク患者への振動ケアがもたらす重症虚血肢移行遅延効果の検討	大桑 麻由美	保健学系	1,670,000	補委	日本学術振興会
手の運動調節能と上肢パフォーマンス能力及び筋活動の関連性に関する研究	西村 誠次	保健学系	2,450,000	補委	日本学術振興会
胸部・腰部・骨盤の3次元変位装置を用いた介助動作解析	柴田 克之	保健学系	1,800,000	補委	日本学術振興会
行動柔軟性における大脳基底核と小脳の連関に関するリハビリテーション技術の基礎研究	米田 貢	保健学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
糖尿病および加齢による線維化が関節構成体に及ぼす影響	松崎 太郎	保健学系	1,600,000	補委	日本学術振興会
放射線治療における変形画像照合技術を用いた線量合算精度の評価手法確立	武村 哲浩	保健学系	1,150,000	補委	日本学術振興会
生後早期の母子関係を評価する新規バイオマーカーの開発-発達障害回避を目指して-	毎田 佳子	保健学系	2,050,000	補委	日本学術振興会

(¥31,012,420)  
小計 30件

右前頭葉機能の賦活・抑制に関わる新規神経機能ネットワークの解明	中嶋 理帆	保健学系	2,200,000	補委	日本学術振興会
近接ジオメトリ型超高分解度CTの開発	川嶋 広貴	保健学系	500,000	補委	日本学術振興会
2型糖尿病患者が家族サポート感取・対応力を発揮するための患者教育プログラムの開発	堀口 智美	保健学系	500,000	補委	日本学術振興会
産後の授乳姿勢が母体の筋力と姿勢アライメントに与える影響と改善プログラムの開発	小西 佳世乃	保健学系	500,000	補委	日本学術振興会
小動物SPECT・PET同時測定法における物理現象の解明と定量評価法の確立	澁谷 孝行	保健学系	800,000	補委	日本学術振興会
糖尿病ラットの廃用性筋萎縮回復過程における運動効果	間所 祥子	保健学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
医薬品個別化適正使用のための薬物代謝酵素活性を定量測定する新規核医学診断法の確立	水谷 明日香	保健学系	700,000	補委	日本学術振興会
RIP-Seq法を用いたRIG-IのRNA decoy探索と核酸医薬への応用	村居 和寿	保健学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
男性2型糖尿病患者の筋内のある体つき認識と血糖コントロールに関与する要因の解明	浅田 優也	保健学系	800,000	補委	日本学術振興会
統合失調症患者の予測に基づく認知・運動機能の評価方法の構築に関する基礎的研究	菊池 ゆひ	保健学系	1,300,000	補委	日本学術振興会
ポータブルNIRSによる中高年者の後出しボディーじゃんけん遂行時の脳活動の検討	武田 千絵	保健学系	2,100,000	補委	日本学術振興会
揺動・位相コントラストMRIによる脳腫瘍の頭蓋内環境の統合解析	大野 直樹	保健学系	10,100,000	補委	日本学術振興会
母子分離の母親のオキシトシンレベルと子どもへの愛着形成に関する研究	南 香奈	保健学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
NAFLD/NASH肝組織リン酸化活性化プロファイリングと新規治療標的分子の同定	本多 政夫	保健学系	2,600,000	補委	日本学術振興会
感情識別機能の術後回復に伴う神経ネットワーク再構成メカニズムの解明	中嶋 理帆	保健学系	3,600,000	補委	日本学術振興会
母子分離の母親のオキシトシンレベルと子どもへの愛着形成に関する研究	南 香奈	保健学系	200,000	補委	日本学術振興会
大腸がんの糖代謝変化と細胞核分裂機構を繋ぐ分子経路の解明とがん制御法開発への応用	源 利成	がん進展制御研究所	4,500,000	補委	日本学術振興会
代謝酵素ゲノム編集による食道扁平上皮の易発がん状態誘発の試み	源 利成	がん進展制御研究所	2,100,000	補委	日本学術振興会
ALK肺癌の髄膜癌腫瘍におけるALK-TKI耐性克服治療の開発	新井 祥子	がん進展制御研究所	1,600,000	補委	日本学術振興会
NTRK1融合遺伝子陽性腫瘍の分子標的薬耐性の分子機構解明と克服を目指す基礎研究	西山 明宏	がん進展制御研究所	1,000,000	補委	日本学術振興会
ALK融合遺伝子陽性肺癌におけるアボース抵抗性因子の解明と克服治療の開発	谷本 梓	がん進展制御研究所	1,100,000	補委	日本学術振興会
GSK3βによるがん促進的糖代謝特性の解明と制御への応用	堂本 貴寛	がん進展制御研究所	1,300,000	補委	日本学術振興会
miR-200sを標的とした肺癌のEMTに起因するTKI耐性克服治療の開発	福田 康二	がん進展制御研究所	800,000	補委	日本学術振興会
分子標的薬で肺がんの根治を目指す治療の非臨床研究基盤の形成	矢野 聖二	がん進展制御研究所	5,300,000	補委	日本学術振興会
肝炎ウイルス感染状況の把握及び肝炎ウイルス排除の方策に資する疫学研究	島上 哲朗	附属病院	1,000,000	補委	厚生労働省
肝炎の病態評価指標の開発と肝炎対策への応用に関する研究	島上 哲朗	附属病院	5,000,000	補委	厚生労働省
臓器等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシステムの開発・実用化に向けた研究	島上 哲朗	附属病院	350,000	補委	厚生労働省
自己免疫性出血症治療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成	朝倉 英策	附属病院	500,000	補委	厚生労働省
IgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	川野 充弘	附属病院	600,000	補委	厚生労働省
自己免疫疾患に関する調査研究	清水 正樹	附属病院	500,000	補委	厚生労働省

(¥54,850,000)  
小計 30件

原発性高脂血症に関する調査研究	多田 隼人	附属病院	200,000	補委	厚生労働省
小児期遺伝性不整脈疾患の睡眠中突然死予防に関する研究	林 研至	附属病院	100,000	補委	厚生労働省
先天異常症候群領域の指定難病等のQOLの向上を目指す包括的研究	渡邊 淳	附属病院	800,000	補委	厚生労働省
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	出村 諭	附属病院	250,000	補委	厚生労働省
自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究	谷内江 昭宏	附属病院	500,000	補委	厚生労働省
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	山田 正仁	医学系	31,347,000	補委	厚生労働省
地域に応じた肝炎ウイルス診療連携体制構築の立案に資する研究	金子 周一	医学系	10,750,000	補委	厚生労働省
指定難病の普及・啓発に向けた統合研究	和田 隆志	医学系	27,000,000	補委	厚生労働省
難治性血管炎に関する調査研究	和田 隆志	医学系	60,000	補委	厚生労働省
難治性腎障害に関する調査研究	和田 隆志	医学系	600,000	補委	厚生労働省
強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究	竹原 和彦	医学系	200,000	補委	厚生労働省
特発性造血障害に関する調査研究	中尾 眞二	医学系	500,000	補委	厚生労働省
アミロイドーシスに関する調査研究	山田 正仁	医学系	200,000	補委	厚生労働省
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	山田 正仁	医学系	700,000	補委	厚生労働省
原発性高脂血症に関する調査研究	川尻 剛照	医学系	200,000	補委	厚生労働省
非癌、慢性炎症性リンパ節・骨髄異常を示すキヌッセルマン病、TAFRO症候群その類縁疾患の診断基準、重症度分類の改正、診断・治療のガイドラインの策定に関する調査研究	岩城 憲子	医学系	100,000	補委	厚生労働省
特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者のQOL向上に関する大規模多施設研究	加畑 多文	医学系	100,000	補委	厚生労働省
認知症に関する血液・髄液バイオマーカーの適性使用のための研究	山田 正仁	医学系	300,000	補委	厚生労働省
原発性免疫不全症候群の診断基準・重症度分類および診療ガイドラインの確立に関する研究	和田 泰三	医学系	1,100,000	補委	厚生労働省
慢性活動性EBウイルス感染症と類縁疾患の疾患レジストリとバイオバンクの構築	和田 泰三	医学系	750,000	補委	厚生労働省
血液凝固異常症等に関する研究	森下 英理子	保健学系	1,100,000	補委	厚生労働省
特発性心筋症に関する調査研究	藤野 陽	保健学系	350,000	補委	厚生労働省
新規及び既存の放射線診療に対応する放射線防護の基準策定のための研究	松原 孝祐	保健学系	250,000	補委	厚生労働省
3学会合同「がんゲノムネット」を用いた、国民への「がんゲノム医療」に関する教育と正しい情報伝達に関する研究	矢野 聖二	がん進展制御研究所	300,000	補委	厚生労働省

(¥77,757,000)

小計 24件

(¥453,969,420)

計 294件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入す
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Sakai Y, Miyazawa M, Komura T 他	消化器内科	Distinct chemotherapy-associated anti-cancer immunity by myeloid cells inhibition in murine pancreatic cancer models	Cancer Sci 2019 ;110(3):903-912.	Original Article
2	Sakai Y, Honda M, Matsui S 他	消化器内科	Development of novel diagnostic system for pancreatic cancer, including early stages, measuring mRNA of whole blood cells	Cancer Sci 2019 ;110(4):1364-1388.	Original Article
3	Iida N, Mizukoshi E, Yamashita T 他	消化器内科	Overuse of antianaerobic drug is associated with poor postchemotherapy prognosis of patients with hepatocellular carcinoma	Int J Cancer 2019 Nov 15;145(10):2701-2711.	Original Article
4	Mizukoshi E, Kaneko S.	消化器内科	Telomerase-Targeted Cancer Immunotherapy	Int J Mol Sci 2019 Apr 12;20(8):1823.	Review

4件

5	Terashima T, Yamashita T, Toyama T 他	消化器内科	Surrogacy of Time to Progression for Overall Survival in Advanced Hepatocellular Carcinoma Treated with Systemic Therapy: A Systematic Review and Meta-Analysis of Randomized Controlled Trials	Liver Cancer 2019 ;8(2):130-139.	Original Article
6	Mizukoshi E, Kaneko S.	消化器内科	Immune cell therapy for hepatocellular carcinoma	J Hematol Oncol 2019 May 29;12(1):52.	Review
7	Terashima T, Umemoto K, Takahashi H 他	消化器内科	Germline mutations in cancer-predisposition genes in patients with biliary tract cancer	Oncotarget 2019 Oct 15;10(57):5949-5957.	Original Article
8	Seishima J, Iida N, Kitamura K 他	消化器内科	Gut-derived Enterococcus faecium from ulcerative colitis patients promotes colitis in a genetically susceptible mouse host	Genome Biol 2019 Nov 25;20(1):252.	Original Article
9	Horii R, Honda M, Shirasaki T 他	消化器内科	MicroRNA-10a Impairs Liver Metabolism in Hepatitis C Virus-Related Cirrhosis Through Dereglulation of the Circadian Clock Gene Brain and Muscle Aryl Hydrocarbon Receptor Nuclear Translocator-Like 1	Hepatol Commun 2019 Sep 26;3(12):1687-1703.	Original Article

5件

10	Tamai T, Mizukoshi E, Kumagai M 他	消化器内科	A Novel $\alpha$ -fetoprotein-derived Helper T-lymphocyte Epitope With Strong Immunogenicity in Patients With Hepatocellular Carcinoma	Scientific Reports 2020 Mar 4;10(1):4021.	Original Article
11	Sakai Y, Fukunishi S, Takamura M 他	消化器内科	Regenerative Therapy for Liver Cirrhosis Based on Intrahepatic Arterial Infusion of Autologous Subcutaneous Adipose Tissue-Derived Regenerative (Stem) Cells: Protocol for a Confirmatory Multicenter Uncontrolled Clinical Trial	JMIR Res Protoc 2020 Mar 31;9(3):e17904.	Original Article
12	Takeda Y	内分泌・代謝内科	Impact of adrenocorticotrophic hormone stimulation during adrenal venous sampling on outcomes of primary aldosteronism.	J Hypertens 2019 May;37(5):1077-1082	Original Article
13	Azusa Ohbatake , Kunimasa Yagi , Shigehiro Karashima 他	内分泌・代謝内科	C-Peptide Area Under the Curve at Glucagon Stimulation Test Predicts Glucose Improvements by GLP-1 Receptor Analogue: A Retrospective Observational Study.	Diabetes Ther 2019 Apr;10(2):673-681	Original Article
14	Jun Tanimura , Hiromi Nakagawa , Takeo Tanaka 他	内分泌・代謝内科	The clinical course and potential underlying mechanisms of everolimus-induced hyperglycemia.	Endocr J 2019 Jul 28;66(7):615-620	Case report

5件

15	Yuki Isobe , Yasuto Nakatsumi , Yu Sugiyama 他	内分泌・代謝内科	Severity Indices for Obstructive Sleep Apnea Syndrome Reflecting Glycemic Control or Insulin Resistance.	Intern Med 2019 Nov 15; 58(22): 3227-3234	Original Article
16	Mitsuhiro Kometani , Takashi Yoneda , Masashi Demura 他	内分泌・代謝内科	Genetic and epigenetic analyses of aldosterone-producing adenoma with hypercortisolemia.	Steroids 2019 Nov;151:108470	Original Article
17	Daisuke Aono , Mitsuhiro Kometani , Shigehiro Karashima 他	内分泌・代謝内科	Primary aldosteronism subtype discordance between computed tomography and adrenal venous sampling.	Hypertens Res 2019 Dec;42(12):1942-1950	Original Article
18	Yumie Takeshita , Takehiro Kanamori , Takeo Tanaka 他	内分泌・代謝内科	Study Protocol for Pleiotropic Effects and Safety of Sodium- Glucose Cotransporter 2 Inhibitor Versus Sulfonylurea in Patients with Type 2 Diabetes and Nonalcoholic Fatty Liver Disease.	Diabetes Ther 2020 Feb;11(2):549-560	Original Article
19	Ito K, Hara S, Yamada K 他	リウマチ・膠原病内科	A case report of crystalline light chain inclusion-associated kidney disease affecting podocytes but without Fanconi syndrome: a clonal analysis of pathological monoclonal light chain	Medicine (Baltimore). 2019 , 98(5): e13915,	Original Article

5件

20	Yoshida M, Zoshima T, Hara S 他	リウマチ・膠原病内科	A long-term survival after surgical treatment for atypical aortic coarctation complicating Takayasu arteritis with inactive disease at the diagnosis: an appropriately treated autopsy case	Intern Med. 2019、58(15): 2241-6,	Original Article
21	Zoshima T, Hara S, Yamagishi M 他	リウマチ・膠原病内科	Possible role of complement factor H in podocytes in clearing glomerular subendothelial immune complex deposits	Sci Rep. 2019、9(1): 7857,	Original Article
22	Kawano M, Saeki T, Nakashima H.	リウマチ・膠原病内科	IgG4-related kidney disease and retroperitoneal fibrosis: an update	Mod Rheumatol. 2019、29(2): 231-9	Original Article
23	Hara J, Kasahara K, Ohkura N 他	呼吸器内科	A Single Institution Retrospective Study of the Clinical Efficacy of Tiotropium Respimat in Never-Smoking Elderly Asthmatics with Irreversible Airflow Limitation.	Drug Res (Stuttg). 2019.04 69(4):211-217	Original Article
24	Kimura H, Araya T, Yoneda T 他	呼吸器内科	Long-lasting responses after discontinuation of nivolumab treatment for reasons other than tumor progression in patients with previously treated, advanced non-small cell lung cancer.	Cancer Commun (Lond). 2019.11 39(1):78.	Letter

5件

25	Kimura H, Amino Y, Koba H 他	呼吸器内科	A case of EGFR mutation-positive lung adenocarcinoma in which the T790M allele fraction was increased by repeated EGFR-TKI treatment.	Cancer Commun (Lond). 2019.11 39(1):67.	Letter
26	Tambo Y, Sone T, Shibata K 他	呼吸器内科	Real-World Efficacy of First-Line Pembrolizumab in Patients With Advanced or Recurrent Non-Small-Cell Lung Cancer and High PD-L1 Tumor Expression	Clin Lung Cancer 2020.02 26;S1525-7304(20)30042-5	Original Article
27	Tada H, Kawashiri MA	循環器内科	Genetic Variations, Triglycerides, and Atherosclerotic Disease.	J Atheroscler Thromb 2019,26(2):128-131,	Original Article
28	Sakata K, Gamou T, Tada H 他	循環器内科	Low Baseline High-Sensitive C-Reactive Protein is Associated with Coronary Atherosclerosis Regression: Insights from the MILLION Study.	J Atheroscler Thromb 2019,26(5):442-51	Original Article
29	Tsuda T, Hayashi K, Fujino N 他	循環器内科	Effect of hypertrophic cardiomyopathy on the prediction of thromboembolism in patients with nonvalvular atrial fibrillation.	Heart Rhythm 2019,16(6):829-837	Original Article

5件

30	Yamagishi M, Tsuda T, Kato T 他	循環器内科	Cost-effectiveness for prevention of thromboembolism by anticoagulants in non-valvular atrial fibrillation: additional analysis from the Hokuriku-Plus AF Registry.	Heart Vessels 2019,34(6):1024-1030	Original Article
31	Tsuda T, Nomura A, Hayashi K	循環器内科	Author's reply to Atrial fibrillation patients with hypertrophic cardiomyopathy: Do we need new stroke risk stratification?	Heart Rhythm 2019,16(8):e56-e57	Original Article
32	Chikata A, Kato T, Usuda K 他	循環器内科	Coronary Sinus Catheter Placement via Left Cubital Vein for Phrenic Nerve Stimulation During Pulmonary Vein Isolation	Heart Vessels 2019 Oct;34 (10), 1710-1716	Original Article
33	Nakagawa T, Mori M, Tada H 他	循環器内科	Unusual Aorto-mitral Discontinuity Caused by Infective Endocarditis.	Intern Med 2019,58(16):2373-6	Original Article
34	Inoue O, Usui S, Takashima SI 他	循環器内科	Diabetes impairs the angiogenic capacity of human adipose-derived stem cells by reducing the CD271+ subpopulation in adipose tissue	Biochem Biophys Res Commun 2019,17(517):369- 75	Original Article

5件

35	Chikata A, Kato T, Usuda K 他	循環器内科	Silent Aspiration of Esophageal Cooling Solution During Pulmonary Vein Isolation Using Hot Balloon	Circ J 2019 Nov 83 (12), 2568	Original Article
36	Tada H, Nohara A, Inazu A 他	循環器内科	Remnant lipoproteins and atherosclerotic cardiovascular disease	Clin Chim Acta 2019,490:1- 5	Original Article
37	Tada H, Takamura M, Kawashiri MA	循環器内科	Lipoprotein(a) as an Old and New Causal Risk Factor of Atherosclerotic Cardiovascular Disease	J Atheroscler Thromb 2019,26(7):583-591	Original Article
38	Tada H, Nohara A, Kawashiri MA	循環器内科	Monogenic, polygenic, and oligogenic familial hypercholesterolemia	Curr Opin Lipidol 2019,30(4):300-306	Original Article
39	Tada H, Okada H, Nomura A 他	循環器内科	Rare and Deleterious Mutations in ABCG5/ABCG8 Genes Contribute to Mimicking and Worsening of Familial Hypercholesterolemia Phenotype	Circ J 2019,83(9):1917- 1924	Original Article

5件

40	Nagamori Y, Hamaoka T, Murai H 他	循環器内科	Takotsubo cardiomyopathy complicated by cardiac tamponade due to non- hemorrhagic pericardial effusion: a case report.	BMC Cardiovasc Disord 2020 Feb 6;20(1):67	Original Article
41	Goten C, Usui S, Hamaoka T 他	循環器内科	A case of pulmonary arterial hypertension with chronic hepatitis that resulted in hepatosplenomegaly after administration of prostaglandin I2.	J Cardiol Cases 2020 Feb 19;21(5):182-185	Original Article
42	Oshima M, Jun M, Ohkuma T 他	腎臓内科	The relationship between eGFR slope and subsequent risk of vascular outcomes and all-cause mortality in type 2 diabetes: the ADVANCE-ON study.	Diabetologia 2019 Nov;62(11):1988-1997	Original Article
43	Yamanouchi M, Hoshino J, Ubara Y 他	腎臓内科	Clinicopathological predictors for progression of chronic kidney disease in nephrosclerosis: a biopsy-based cohort study.	Nephrol Dial Transplant 2019 Jul 1;34(7):1182-1188	Original Article
44	Yasuda H, Iwata Y, Nakajima S 他	腎臓内科	Erythropoietin signal protected HUVEC from high glucose induced injury.	Nephrology (Carlton) 2019 Jul;24(7):767-774	Original Article

5件

45	Toyama T, Neuen BL, Jun M 他	腎臓内科	Effect of SGLT2 inhibitors on cardiovascular, renal and safety outcomes in patients with type 2 diabetes mellitus and chronic kidney disease: a systematic review and meta-analysis.	Diabetes Obes Metab 2019 May;21(5):1237-1250	Original Article
46	Yamanouchi M, Furuichi K, Hoshino J 他	腎臓内科	Nonproteinuric Versus Proteinuric Phenotypes in Diabetic Kidney Disease: A Propensity Score-Matched Analysis of a Nationwide, Biopsy-Based Cohort Study.	Diabetes Care 2019 May;42(5):891-902	Original Article
47	Ochi M, Toyama T, Ando M 他	腎臓内科	A case of secondary IgA nephropathy accompanied by psoriasis treated with secukinumab.	CEN Case Rep 2019 Aug;8(3):200-204	Case report
48	Sakai N, Bain G, Furuichi K 他	腎臓内科	The involvement of autotaxin in renal interstitial fibrosis through regulation of fibroblast functions and induction of vascular leakage.	Sci Rep 2019 May 15;9(1):7414	Original Article
49	Sako K, Furuichi K, Yamamura Y 他	腎臓内科	Association between the recurrence period of acute kidney injury and mortality: a single-centre retrospective observational study in Japan.	BMJ Open 2019 Jun 16;9(6):e023259	Original Article

5件

50	Hara A, Koshino Y, Kurokawa Y 他	腎臓内科	Relationship between anti-erythropoietin receptor autoantibodies and responsiveness to erythropoiesis-stimulating agents in patients on hemodialysis: a multi-center cross-sectional study.	Clin Exp Nephrol 2020 Jan;24(1):88-95	Original Article
51	Iwata Y, Satou K, Furuichi K 他	腎臓内科	Collagen adhesion gene is associated with bloodstream infections caused by methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> .	Int J Infect Dis 2020 Feb;91:22-31	Original Article
52	Yamanouchi M, Mori M, Hoshino J 他	腎臓内科	Retinopathy progression and the risk of end-stage kidney disease: results from a longitudinal Japanese cohort of 232 patients with type 2 diabetes and biopsy-proven diabetic kidney disease.	BMJ Open Diabetes Res Care 2019 Nov 2;7(1):e000726	Original Article
53	Hiroyuki Takamatsu, Takeshi Yoroidaka, Momoko Fujisawa 他	血液内科	Comparison of minimal residual disease detection in multiple myeloma by SRL 8-color single-tube and EuroFlow 8-color 2-tube multiparameter flow cytometry.	Int J Hematol. 2019 Apr;109(4):377-381.	Original Article
54	Hiroyuki Takamatsu , Shinsuke Iida , Hirohiko Shibayama 他	血液内科	Daratumumab, lenalidomide, and dexamethasone in Japanese patients with transplant-ineligible newly diagnosed multiple myeloma: a phase 1b study.	Int J Hematol. 2020 May;111(5):692-701.	Original Article

5件

55	Takamatsu H.	血液内科	Clinical value of measurable residual disease testing for multiple myeloma and implementation in Japan.	Int J Hematol. 2020 ;111(4):519-529.	Review
56	Hayashi K, Hamaguchi T, Sakai K 他	脳神経内科	Neuronal intranuclear inclusion disease showing blepharoptosis and positive serum anti-acetylcholine receptor antibody without myasthenia gravis	J Neurol Sci 2019 May 15;400:119-121	Case report
57	Sakai K, Ueda M, Fukushima W 他	脳神経内科	Nationwide survey on cerebral amyloid angiopathy in Japan	Eur J Neurol 2019 Dec;26(12):1487-1493	Original Article
58	Sakai K, Ikeda T, Ishida C 他	脳神経内科	Delusions and visual hallucinations in a patient with Parkinson's disease with dementia showing pronounced Lewy body pathology in the nucleus basalis of Meynert	Neuropathology 2019 Aug;39(4):319-323	Case report
59	Muramatsu D, Yamaguchi H, Iwasa K 他	脳神経内科	The Author's Reply: Cerebellar Stroke-like Lesions?	Intern Med 2019 Nov 1;58(21):3207	Case report

5件

60	Shima A, Hamaguchi T, Tada Y 他	脳神経内科	Treatment with Rituximab in the acute phase of relapsing remitting multiple sclerosis: a case report	Intern Med 2020 Jan 1;59(1):121-124	Case report
61	Yamada M, Komatsu J, Nakamura K 他	脳神経内科	Diagnostic criteria for dementia with Lewy bodies: Updates and future directions	J Mov Disord 2020 Jan;13(1):1-10	Review
62	Yamada M, Hamaguchi T, Sakai K	脳神経内科	Acquired cerebral amyloid angiopathy: an emerging concept	Prog Mol Biol Transl Sci 2019;168:85-95	Review
63	Noguchi- Shinohara M, Hirako K, Fujii M 他	脳神経内科	Presence of a synergistic interaction between current cigarette smoking and diabetes mellitus on development of dementia in older adults	J Alzheimers Dis 2019;71(3):833-840	Original Article
64	Naito N, Kikuchi M, Yoshimura Y 他	神経科精神科	Atypical body movements during night in young children with autism spectrum disorder: a pilot study	Sci Rep 2019.5.6、9(1):6999	Original Article

5件

65	Mizuta M, Shimizu M, Inoue N 他	小児科	Clinical significance of serum CXCL9 levels as a biomarker for systemic juvenile idiopathic arthritis associated macrophage activation syndrome.	Cytokine. 2019;119:182-187	Others
66	Fujiki T, Nishimura R, Yachie A.	小児科	Long-lasting low NK cell activity after hemophagocytic lymphohistiocytosis in an infant with spontaneous recovery.	Pediatr Int. 2019;61(4):413-414	Others
67	Fujiki T, Nishimura R, Mase S 他	小児科	Accurate detection of renal leukemic involvement in children using 3-D computed tomography modeling.	Pediatr Int. 2019;61(7):679-687	Original Article
68	Muraoka M, Akagi T, Ueda A 他	小児科	C/EBP $\epsilon$ $\Delta$ RS derived from a neutrophil-specific granule deficiency patient interacts with HDAC1 and its dysfunction is restored by trichostatin A.	Biochem Biophys Res Commun. 2019;516(1):293-299	Original Article
69	Shimizu M, Kizawa T, Kato R 他	小児科	Macrophage activation syndrome in neonates born to mothers with adult-onset Still's disease: Perinatal effect of maternal IL-18.	Clin Immunol. 2019;207:36-39.	Case report

5件

70	Ikawa Y, Miccio A, Magrin E 他	小児科	Gene therapy of hemoglobinopathies: progress and future challenges.	Hum Mol Genet. 2019;28(R1):R24-R30.	Review
71	Shimizu M, Irabu H, Kaneda H 他	小児科	Familial focal segmental glomerulosclerosis with PLCE1 mutation in siblings.	Pediatr Int. 2019;61(7):726-727	Case report
72	Takakura M, Shimizu M, Irabu H 他	小児科	Comparison of serum biomarkers for the diagnosis of macrophage activation syndrome complicating systemic juvenile idiopathic arthritis.	Clin Immunol. 2019;208:108252.	Others
73	Shimizu M	小児科	Pathogenic functions and diagnostic utility of cytokines/chemokines in EHEC-HUS.	Pediatr Int. 2020;62(3):308-315.	Review
74	Noguchi K, Nishimura R, Ikawa Y 他	小児科	Half of 'Micrococcus spp.' cases identified by conventional methods are revealed as other life-threatening bacteria with different drug susceptibility patterns by 16S ribosomal RNA gene sequencing.	J Infect Chemother. 2020 Mar;26(3):318-319.	Others

5件

75	Yokoyama T, Takemura Y, Kuroda R 他	小児科	Facial nerve palsy with splenomegaly	J Paediatr Child Health. 2020 Jun;56(6):974-975.	Case report
76	Shimizu M, Mizuta M, Okamoto N 他	小児科	Tocilizumab modifies clinical and laboratory features of macrophage activation syndrome complicating systemic juvenile idiopathic arthritis.	Pediatr Rheumatol Online J. 2020 Jan 10;18(1):2.	Others
77	Shimizu M, Shimizu H, Jinkawa A 他	小児科	Cytokine Profiles in Human Parechovirus Type 3-induced Sepsis-like Syndrome.	Pediatr Infect Dis J. 2020 Feb;39(2):137-139.	Others
78	Irabu H, Shimizu M, Kaneko S 他	小児科	Comparison of serum biomarkers for the diagnosis of macrophage activation syndrome complicating systemic juvenile idiopathic arthritis during tocilizumab therapy.	Pediatr Res. 2020 Mar 17	Others
79	Kumazaki H, Warren Z, Swanson A 他	子どものこころの診療科	Brief Report: Evaluating the Utility of Varied Technological Agents to Elicit Social Attention from Children with Autism Spectrum Disorders.	J Autism Dev Disord 2019.4, 49(4):1700-1708、	Original Article

5件

80	Kumazaki H, Muramatsu T, Yoshikawa Y 他	子どものこころの診療科	Brief Report: A Novel System to Evaluate Autism Spectrum Disorders Using Two Humanoid Robots.	J Autism Dev Disord 2019.4、49(4):1709-1716、	Original Article
81	Kumazaki H, Muramatsu T, Yoshikawa Y 他	子どものこころの診療科	Job interview training targeting nonverbal communication using an android robot for individuals with autism spectrum disorder.	Autism 2019.8、23(6):1586-1595	Original Article
82	Kumazaki H, Muramatsu T, Yoshikawa Y 他	子どものこころの診療科	Comedic experience with two robots aided a child with autism spectrum disorder to realize the importance of nonverbal communication.	Psychiatry Clin Neurosci 2019.7、73(7):423	Original Article
83	Kumazaki H, Muramatsu T, Yoshikawa Y 他	子どものこころの診療科	Role-Play-Based Guidance for Job Interviews Using an Android Robot for Individuals with Autism Spectrum Disorders.	Front Psychiatry 2019.4.11、10:239	Original Article
84	Kumazaki H, Muramatsu T, Miyao M 他	子どものこころの診療科	Brief Report: Olfactory Adaptation in Children with Autism Spectrum Disorders.	J Autism Dev Disord 2019.8、49(8):3462-3469	Original Article

5件

85	Ikeda T, Takahashi T, Hiraishi H 他	子どものこころの診療科	Anodal Transcranial Direct Current Stimulation Induces High Gamma-Band Activity in the Left Dorsolateral Prefrontal Cortex During a Working Memory Task: A Double-Blind, Randomized, Crossover Study.	Front Hum Neurosci 2019.4.24、13:136	Original Article
86	Kumazaki H, Muramatsu T, Yoshikawa Y 他	子どものこころの診療科	How the Realism of Robot Is Needed for Individuals With Autism Spectrum Disorders in an Interview Setting.	Front Psychiatry 2019.7.11、10:486	Original Article
87	Kumazaki H, Muramatsu T, Kobayashi K 他	子どものこころの診療科	Feasibility of autism-focused public speech training using a simple virtual audience for autism spectrum disorder.	Psychiatry Clin Neurosci. 2020 Feb;74(2):124-131.	Original Article
88	Yoshida K, Takahashi N, King BF 他	放射線科	Multiple unilateral subcapsular cortical hemorrhagic cystic disease of the kidney: CT and MRI findings and clinical characteristic.	Eur Radiol. 2019 Sep;29(9):4843-4850.	Original Article
89	Inoue D, Zen Y, Komori T 他	放射線科	CT Findings of Thoracic Paravertebral Lesions in IgG4-Related Disease.	AJR Am J Roentgenol. 2019 Sep;213(3):W99-W104.	Original Article

5件

90	Kozaka K, Kobayashi S, Yoneda N 他	放射線科	Doughnut-like hyperintense nodules on hepatobiliary phase without arterial-phase hyperenhancement in cirrhotic liver: imaging and clinicopathological features.	Eur Radiol. 2019 Dec;29(12):6489-6498.	Original Article
91	Hamaoka M, Kozaka K, Matsui O 他	放射線科	Early detection of intrahepatic cholangiocarcinoma.	Jpn J Radiol. 2019 Oct;37(10):669-684.	Review
92	Yoshida K, Hamaoka M, Kobayashi S 他	放射線科	Renal pelvic and ureteral wall thickening in renal cell carcinoma: prevalence, cause, and clinical significance.	Jpn J Radiol. 2019 Dec;37(12):832-840.	Original Article
93	Yoshida K, Takahashi N, Karnes RJ 他	放射線科	Prostatic Remnant After Prostatectomy: MR Findings and Prevalence in Clinical Practice.	AJR Am J Roentgenol 2020 Jan;214(1):W37-W43.	Original Article
94	Inoue D, Yoneda N, Yoshida K 他	放射線科	Imaging and pathological features of gastric lesion of immunoglobulin G4-related disease: a case report and review of the recent literature	Mod Rheumatol. 2019、29(2): 377-82	Original Article

5件

95	Ooi A, Inokuchi M, Horike SI 他	皮膚科	Amplicons in breast cancers analyzed by multiplex ligation-dependent probe amplification and fluorescence in situ hybridization.	Hum Pathol 2019 ;85:33-43	Original Article
96	Shimizu K, Matsushita T, Takehara K 他	皮膚科	A case of juvenile localized scleroderma with anti-topoisomerase I antibody	Eur J Dermatol 2019 Aug 1;29(4):443-444	Case report
97	Matsushita T	皮膚科	Regulatory and effector B cells: Friends or foes?	J Dermatol Sci 2019 Jan;93(1):2-7	Review
98	Matsushita T, Takehara K	皮膚科	Soluble CD163 is a potential biomarker in systemic sclerosis	Expert Rev Mol Diagn 2019 ;19(3):197-199	Review
99	Kano M, Kobayashi T, Date M 他	皮膚科	Attenuation of murine sclerodermatous models by the selective S1P1 receptor modulator cenerimod	Sci Rep 2019 Jan 24;9(1):658	Original Article

5件

100	Mizumaki K, Maeda S, Ikawa Y 他	皮膚科	A case of dermatomyositis with the anti-signal recognition particle antibody that was successfully treated with prednisolone and intravenous immunoglobulin therapy	J Dermatol 2019 Jul;46(7):e251-e253	Case report
101	Yagi-Numata N, Matsushita T, Takehara K 他	皮膚科	Increased expression levels of Fc $\gamma$ RIIB on naïve and double-negative memory B cells in patients with systemic sclerosis	Clin Exp Rheumatol Jul-Aug 2019;37 Suppl 119(4):23-31	Original Article
102	Kobayashi T, Oishi K, Okamura A 他	皮膚科	Regulatory B1a Cells Suppress Melanoma Tumor Immunity via IL-10 Production and Inhibiting T Helper Type 1 Cytokine Production in Tumor-Infiltrating CD8+ T Cells	J Invest Dermatol 2019 Jul;139(7):1535-1544	Original Article
103	Hamaguchi Y, Kuwana M, Takehara K	皮膚科	Performance evaluation of a line blot assay system for detection of anti-PM-Scl antibody in Japanese patients with systemic sclerosis	Int J Rheum Dis 2019 Sep;22(9):1746-1751	Original Article
104	Horii M, Kobayashi T, Maeda S 他	皮膚科	Stevens-Johnson syndrome associated with radiation recall dermatitis in a patient treated with immune checkpoint inhibitor	J Dermatol 2019 Nov;46(11):e434-e436	Case report

5件

105	Nakao M, Okamura A, Mizuno T 他	皮膚科	Human case of subcutaneous nodule because of a novel genetic variation of <i>Dirofilaria</i> sp	J Dermatol 2019 Oct;46(10):914-916	Case report
106	Matsushita T, Kobayashi T, Kano M 他	皮膚科	Elevated serum B-cell activating factor levels in patients with dermatomyositis: Association with interstitial lung disease	J Dermatol 2019 Dec;46(12):1190-1196	Original Article
107	Keiko Ogawa, Kanji Kawasaki	漢方医学科	Panax ginseng for Frailty-Related Disorders: A Review	Frontiers in Nutrition, 2019 Jan 17;5:140	Review
108	Keiko Ogawa-Ochiai, Akiko Shirai, Masaki Tsuda 他	漢方医学科	Optical examination of the efficacy of contact needle therapy for chemotherapy-induced peripheral neuropathy: integration of inspection in Kampo therapy with color spectrum information	Artificial Life and Robotics 2019 pages1-5,24	Original Article
109	Ogawa-Ochiai K, Katagiri T, Sato Y 他	漢方医学科	Natural Killer Cell Function Changes by the Japanese Kampo Medicine Juzentaihoto in General Fatigue Patients	Advances in Integrative Medicine(2020) 2019.12.003	Original Article

5件

110	Kenji Iino , Yoshitaka Yamamoto , Hironari No 他	心臓血管外科	Destructive Aortic Root Endocarditis Involving Pulmonary Valve With Aorto-Right Ventricular Fistula	Interact Cardiovasc Thorac Surg 2019 Jul 1;29(1):161	Case report
111	Yoshitaka Yamamoto , Keiichi Kimura , Shintaro Takago 他	心臓血管外科	Aneurysm Resection Interposed With a Spiral Saphenous Vein Graft in a Patient With a Popliteal Venous Aneurysm With Thrombosis	J Vasc Surg Venous Lymphat Disord 2019 Nov;7(6):898- 901	Case report
112	Matsumoto I, Oda M, Ikeda H 他	呼吸器外科	The changes underwent by free fat pads used for pulmonary air leakage repair.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2019 Feb;67(2):266-269.	Original Article
113	Masaya Tamura , Isao Matsumoto , Yusuke Tanaka 他	呼吸器外科	Comparison Between Stereotactic Radiotherapy and Sublobar Resection for Non-Small Cell Lung Cancer	Ann Thorac Surg 2019 May;107(5):1544-1550	Original Article
114	Masaya Tamura, Isao Matsumoto, Yusuke Tanaka 他	呼吸器外科	Prognostic Factor and Treatment Strategy for Clinical N1 Non-Small Cell Lung Cancer	Gen Thorac Cardiovasc Surg 2020 Mar;68(3):261-265	Original Article

5件

115	Yusuke Tanaka, Isao Matsumoto , Munehisa Takata 他	呼吸器外科	Vitamin B2 Lung- Marking Method Using Black Light Irradiation	J Thorac Dis 2020 Mar;12(3):651-658	Original Article
116	Okamoto K, Ninomiya I, Yamaguchi T 他	胃腸外科	Oral cryotherapy for prophylaxis of oral mucositis caused by docetaxel, cisplatin, and fluorouracil chemotherapy for esophageal cancer.	Esophagus 2019.04, 16(2):207-213	Original Article
117	Okamoto K, Ninomiya I, Fujiwara Y 他	胃腸外科	Use of esophageal stent for the treatment of postoperative gastrointestinal-airway fistula after esophagectomy.	Esophagus 2019.10, 16(4):413-417	Original Article
118	Munemoto M, Mukaisho KI, Miyashita T 他	胃腸外科	Roles of the hexosamine biosynthetic pathway and pentose phosphate pathway in bile acid- induced cancer development	Cancer Science 2019.08, 110(8):2408-2420	Original Article
119	Haba Y, Fujimura T, Oyama K 他	胃腸外科	Effect of Oral Branched-Chain Amino Acids and Glutamine Supplementation on Skeletal Muscle Atrophy After Total Gastrectomy in Rat Model	Journal of Surgical Research 2019.11, 243:281-288	Original Article

5件

120	Kurata T, Rajendran V, Fan S 他	胃腸外科	NHE5 regulates growth factor signaling, integrin trafficking, and degradation in glioma cells	Clinical & Experimental Metastasis 2019.12, 36(6):527-538	Original Article
121	Ohe Y, Fushida S, Yamaguchi T 他	胃腸外科	Peripheral Blood Platelet-Lymphocyte Ratio Is Good Predictor of Chemosensitivity and Prognosis in Gastric Cancer Patients	Cancer Management and Research 2020.02, 12:1303-1311	Original Article
122	Shoji Y, Takamura H, Ninomiya I 他	肝胆膵・移植外科	The Embryonic Stem Cell-Specific Transcription Factor ZFP57 Promotes Liver Metastasis of Colorectal Cancer	Journal of Surgical Research 2019.05, 237:22-29	Original Article
123	Hayashi H, Tajima H, Hanazaki K 他	肝胆膵・移植外科	Safety of artificial pancreas in hepato-biliary-pancreatic surgery: A prospective study.	Asian Journal Surgery 2020.01, 43(1):201-206	Original Article
124	Tajima H, Ohta T, Okazaki M 他	肝胆膵・移植外科	Neoadjuvant chemotherapy with gemcitabine-based regimens improves the prognosis of node positive resectable pancreatic head cancer	Molecular and Clinical Oncology 2019.08, 11(2):157-166	Original Article

5件

125	Okazaki M, Oyama K, Kinoshita J 他	肝胆膵・移植外科	Incidence of and risk factors for totally implantable vascular access device complications in patients with gastric cancer: A retrospective analysis	Molecular and Clinical Oncology 2019.10, 11(4):343-348	Original Article
126	Zaimoku R, Miyashita T, Tajima H 他	肝胆膵・移植外科	Monitoring of Heat Shock Response and Phenotypic Changes in Hepatocellular Carcinoma After Heat Treatment	Anticancer Research 2019.10, 39(10):5393-5401	Original Article
127	Miyashita T, Tajima H, Gabata R 他	肝胆膵・移植外科	Impact of Extravasated Platelet Activation and Podoplanin-positive Cancer-associated Fibroblasts in Pancreatic Cancer Stroma	Anticancer Research 2019.10, 39(10):5565-5572	Original Article
128	Oshima T, Nakase J, Toratani T 他	整形外科	A Scaffold-Free Allogeneic Construct From Adipose-Derived Stem Cells Regenerates an Osteochondral Defect in a Rabbit Model	Arthroscopy 35: 583-593, 2019	Original Article
129	Higuchi T, Kawaguchi K, Miyake K 他	整形外科	The combination of gemcitabine and nab-paclitaxel as a novel effective treatment strategy for undifferentiated soft-tissue sarcoma in a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) nude-mouse model.	Biomed Pharmacother 111: 835-840, 2019	Original Article

5件

130	Miwa S, Yamamoto N, Hayashi K 他	整形外科	Therapeutic Targets for Bone and Soft-Tissue Sarcomas	Int J Mol Sci 20: E170, 2019	Review
131	Miwa S, Shirai T, Yamamoto N 他	整形外科	Risk factors for surgical site infection after malignant bone tumor resection and reconstruction	BMC Cancer 19: 33, 2019	Original Article
132	Miwa S, Shirai T, Yamamoto N 他	整形外科	Current and emerging targets in immunotherapy for osteosarcoma	J Oncol 7035045, 2019	Review
133	Yoshitani J, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	Morphometric geometrical analysis to determine the centre of the acetabular component placement in Crowe type IV hips undergoing total hip arthroplasty.	Bone Joint J 101: 189-197, 2019	Original Article
134	Ueoka K, Sawaguchi T, Goshima K 他	整形外科	The influence of pre- operative antiplatelet and anticoagulant agents on the outcomes in elderly patients undergoing early surgery for hip fracture	J Orthop Sci 24: 830-835, 2019	Original Article

5件

135	Yamamuro Y, Demura S, Murakami H 他	整形外科	Acute progressive adolescent idiopathic cervical kyphosis: case report.	J Neurosurg Spine 30: 783-787, 2019	Case report
136	Yamamoto N, Hayashi K, Tsuchiya H	整形外科	Progress in biological reconstruction and enhanced bone revitalization for bone defects	J Orthop Sci 24(3): 387-392, 2019	Original Article
137	Higuchi T, Oshiro H, Zhang Z 他	整形外科	Osimertinib Regresses an EGFR-Mutant Cisplatinum- Resistant Lung Adenocarcinoma Growing in the Brain in Nude Mice.	Transl Oncol 12:640-645, 2019	Original Article
138	Higuchi T, Miyake K, Sugisawa N 他	整形外科	Olaratumab combined with doxorubicin and ifosfamide overcomes individual doxorubicin and olaratumab resistance of an undifferentiated soft-tissue sarcoma in a PDOX mouse model.	Cancer Lett 451: 122-127, 2019	Original Article
139	Higuchi T, Miyake K, Sugisawa N 他	整形外科	The combination of olaratumab with gemcitabine and docetaxel arrests a chemotherapy-resistant undifferentiated soft-tissue sarcoma in a patient-derived orthotopic xenograft mouse model.	Cancer Chemother Pharmacol 83: 1075-1082, 2019	Original Article

5件

140	Abe K, Yamamoto N, Hayashi K 他	整形外科	Satisfaction After Joint-preservation Surgery in Patients With Musculoskeletal Knee Sarcoma Based on Various Scores.	Anticancer Res 39: 1959-1964, 2019	Original Article
141	Abe K, Yamamoto N, Hayashi K 他	整形外科	Determining Patient Satisfaction and Treatment Desires in Patients With Musculoskeletal Sarcoma of the Knee After Joint-preservation Surgery Using a Questionnaire Survey.	Anticancer Res 39: 1965-1969, 2019	Original Article
142	Inoue D, Xu C, Yazdi H 他	整形外科	Age Alone is Not a Risk Factor for Periprosthetic Joint Infection.	J Hosp Infect 103: 64-68, 2019	Original Article
143	Yahata T, Maruta T, Nakanami A	整形外科	Simple semi-permanent blockade against rigid varus foot in a case with spasticity: possible practical benefits in ambulatory adults.	BMJ Case Rep 12: e227732, 2019	Original Article
144	Hamada T, Matsubara H, Yoshida Y 他	整形外科	Autologous adipose-derived stem cell transplantation enhances healing of wound with exposed bone in a rat model.	PLoS One 14: e214106, 2019	Original Article

5件

145	Oshima T, Leie M, Grasso S 他	整形外科	Relationship between anterior cruciate ligament and anterolateral meniscal root bony attachment: High-resolution 3-T MRI analysis.	Knee 26: 537-544, 2019	Original Article
146	Ueno T, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	Tilt-adjusted Cup Anteversion in Patients with Severe Backward Pelvic Tilt is Associated with the Risk of Iliopsoas Impingement: A Three-dimensional Implantation Simulation	Clin Orthop Relat Res 477: 2243-2254, 2019	Original Article
147	Ueoka K, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	The Accuracy of the Computed Tomography-Based Navigation System in Total Hip Arthroplasty Is Comparable With Crowe Type IV and Crowe Type I Dysplasia: A Case-Control Study	J Arthroplasty 34: 2686-2691, 2019	Original Article
148	Nakase J, Oshima T, Takata Y 他	整形外科	Ultrasound-guided injection and the pie crust technique for the treatment of symptomatic bipartite patella	J Med Ultrason 46: 497-502, 2019	Original Article
149	Miwa S, Otsuka T, Yamada S 他	整形外科	Asymptomatic bone marrow edema detected by 67Ga scintigraphy	Clin Nucl Med 44: 680-682, 2019	Original Article

5件

150	Higuchi T, Sugisawa N, Miyake K 他	整形外科	The Combination of Olaratumab with Doxorubicin and Cisplatin Regresses a Chemotherapy-Resistant Osteosarcoma in a Patient-Derived Orthotopic Xenograft Mouse Model.	Transl Oncol 12: 1257-1263, 2019	Original Article
151	Higuchi T, Yamamoto N, Hayashi K 他	整形外科	C-arm cone-beam computed tomography-guided minimally invasive open excision of an osteoid osteoma undetectable on fluoroscopy: A case report.	Int J Surg Case Rep 61: 14-19, 2019	Case report
152	Abe K, Yamamoto N, Hayashi K 他	整形外科	Caffeine citrate enhanced cisplatin antitumor effects in osteosarcoma and fibrosarcoma in vitro and in vivo.	BMC Cancer 19: 689, 2019	Original Article
153	Akahane M, Sawaguchi T, Sakagoshi D 他	整形外科	Treatment of a sacral fracture associated with an intrasacral meningocele: A case report	J Orthop Surg (Hong Kong) 27: 2309499019860269, 2019	Case report
154	Higuchi T, Sugisawa N, Miyake K 他	整形外科	Sorafenib and Palbociclib Combination Regresses a Cisplatin-resistant Osteosarcoma in a PDOX Mouse Model.	Anticancer Res 39: 4079-4084, 2019	Original Article

5件

155	Higuchi T, Oshiro H, Miyake K 他	整形外科	Oral Recombinant Methioninase, Combined With Oral Caffeine and Injected Cisplatinum, Overcome Cisplatinum-Resistance and Regresses Patient-derived Orthotopic Xenograft Model of Osteosarcoma.	Anticancer Res 39: 4653-4657, 2019	Original Article
156	Higuchi T, Sugisawa N, Miyake K 他	整形外科	Combination Treatment With Sorafenib and Everolimus Regresses a Doxorubicin-resistant Osteosarcoma in a PDOX Mouse Model.	Anticancer Res 39: 4781-4786, 2019	Original Article
157	Higuchi T, Sugisawa N, Miyake K 他	整形外科	Pioglitazone, an agonist of PPAR $\gamma$ , reverses doxorubicin-resistance in an osteosarcoma patient-derived orthotopic xenograft model by downregulating P-glycoprotein expression.	Biomed Pharmacother 118: 109356, 2019	Original Article
158	Miwa S, Kamei M, Yoshida S 他	整形外科	Local dissemination of osteosarcoma observed after massage therapy: a case report	BMC Cancer 19: 993, 2019	Case report
159	Miwa S, Okamoto H, Yamada S 他	整形外科	Distribution of solitary and multiple enchondromas of the hand	In Vivo 33: 2235-2240, 2019	Original Article

5件

160	Yamamoto N, Tsuchiya H	整形外科	Treatment of chordoma -where is it going?	J Spine Surg 5(3): 387-389, 2019	Letter
161	Hamada T, Matsubara H, Yoshida Y 他	整形外科	Comparison of treatment indices associated with the correction and lengthening of deformities along various lower limb frontal plane directions.	J Clin Orthop Trauma 10: 57-61, 2019	Original Article
162	Taniguchi Y, Yamamoto N, Hayashi K 他	整形外科	Anti-tumor Effects of Cyclolinopeptide on Giant-cell Tumor of the Bone.	Anticancer Res 39: 6145- 6153, 2019	Original Article
163	Takeuchi A, Yamamoto N, Hayashi K 他	整形外科	Joint-preservation surgery for pediatric osteosarcoma of the knee joint.	Cancer Metastasis Rev 38: 709-722, 2019	Review
164	Takeuchi A, Nomura A, Ya 他	整形外科	Randomized placebo- controlled double-blind phase II study of zaltoprofen for patients with diffuse-type and unresectable localized tenosynovial giant cell tumors: a study protocol	BMC Musculoskelet Disord 20: 68, 2019	Original Article

5件

165	Takeuchi A, Matsubara H, Ya 他	整形外科	Successful treatment of pathologic femoral shaft fracture associated with large arteriovenous malformations using a 3-dimensional external fixator and teriparatide: a case report	BMC Surg 19: 35, 2019	Case report
166	Higuchi T, Miyake K, Sugisawa N 他	整形外科	Trabectedin and irinotecan combination regresses a cisplatin-resistant osteosarcoma in a patient-derived orthotopic xenograft nude-mouse model.	Biochem Biophys Res Commun 513: 326-331, 2019	Original Article
167	Shimozaki K, Nakase J, Takata Y 他	整形外科	The characteristic findings of an inverted-type discoid lateral meniscus tear: a hidden tear pattern	BMC Musculoskelet Disord 20: 223, 2019	Original Article
168	Igarashi K, Kawaguchi K, Kiyuna T 他	整形外科	Pazopanib regresses a doxorubicin-resistant synovial sarcoma in a patient-derived orthotopic xenograft mouse model.	Tissue Cell 58: 107-111, 2019	Original Article
169	Tada K, Nakajima T, Nakada M 他	整形外科	Topical application of fasudil hydrochloride for vasospasm during soft tissue reconstruction using a free flap	Case Rep Orthop 28: 5929281, 2019	Original Article

5件

170	Aoki Y, Yamamoto N, Hayashi K 他	整形外科	Revitalization of frozen autologous bone graft using adipose-derived stem cells	J Transl Sci 5:1-7,2019	Original Article
171	Oshima T, Grasso S, Beach A 他	整形外科	Lateral location of the tibial tunnel increases lateral meniscal extrusion after anatomical single-bundle anterior cruciate ligament reconstruction.	J ISAKOS 4: 285-289, 2019	Original Article
172	Kobayashi M, Kato S, Murakami H 他	脊椎・脊髄外科	Delayed-Onset Paraplegia Due to Spinal Cord Infarction After Repeated Tumor Excision Surgeries of the Thoracic Spine.	Orthopedics 42: e131-e134, 2019	Case report
173	Yonezawa N, Murakami H, Sangsin A 他	脊椎・脊髄外科	Lung metastases regression with increased CD8+ T lymphocyte infiltration following preoperative spinal embolization and total en bloc spondylectomy using tumor-bearing frozen autograft in a patient with spinal metastatic leiomyosarcoma	Eur Spine J 28: S41-S50, 2019	Case report
174	Yonezawa N, Murakami H, Demura S 他	脊椎・脊髄外科	Morphologic Changes After Denosumab Therapy in Patients with Giant Cell Tumor of the Spine: Report of Four Cases and a Review of the Literature	World Neurosurg 127: 38-46, 2019	Original Article

5件

175	Shimizu T, Yoshioka K, Murakami H 他	脊椎・脊髄外科	Fluoroscopy-assisted posterior percutaneous reduction for the management of unilateral cervical facet dislocations after unsuccessful closed reduction: A case report.	Int J Surg Case Rep 58: 212-215, 2019	Case report
176	Yoshioka K, Murakami H, Demura S 他	脊椎・脊髄外科	The Large Individual Differences in the Range of Hip Joint Motion Rather Than Lumbar Spine Motion Affect Dynamic Spinopelvic Rhythm.	Spine Surg Relat Res 22: 255-260, 2019	Original Article
177	Demura S, Watanabe K, Suzuki T 他	脊椎・脊髄外科	Comparison of pulmonary function after selective anterior versus posterior fusion for the correction of thoracolumbar and lumbar adolescent idiopathic scoliosis.	Global Spine J online 1-5, 2019	Original Article
178	Iwamoto H, Izumi K, Natsagdorj A 他	泌尿器科	Coffee diterpenes kahweol acetate and cafestol synergistically inhibit the proliferation and migration of prostate cancer cells	Prostate 2019 Apr;79(5):468-479.	Original Article
179	Nakagawa R, Shigehara K, Aoyama S 他	泌尿器科	Efficacy of combined prophylactic use of levofloxacin and isepamicin for transrectal prostate needle biopsy: A retrospective single-center study	J Infect Chemother 2019 May;25(5):337-340.	Original Article

5件

180	Kadono Y, Nohara T, Kawaguchi S 他	泌尿器科	Novel Prevention Procedure for Inguinal Hernia after Robot- Assisted Radical Prostatectomy: Results from a Prospective Randomized Trial	J Endourol 2019 Apr;33(4):302-308.	Original Article
181	Takezawa Y, Izumi K, Kamijima T 他	泌尿器科	Effectiveness of Synthetic Polymer- coated Peripherally Inserted Central Catheter in Patients With Advanced Cancer	In Vivo 2019 May- Jun;33(3):877-880.	Original Article
182	Kadomoto S, Shigehara K, Iwamoto H 他	泌尿器科	Testosterone Replacement Therapy for Patients with Hypogonadism after High Dose-Rate Brachytherapy for High-Risk Prostate Cancer: A Report of Six Cases and Literature Review	World J Mens Health 2020 Jan;38(1):132-136.	Original Article
183	Kadomoto S, Yaegashi H, Nakashima K 他	泌尿器科	Quantification of Bone Metastasis of Castration-resistant Prostate Cancer After Enzalutamide and Abiraterone Acetate Using Bone Scan Index on Bone Scintigraphy	Anticancer Res 2019 May;39(5):2553-2559.	Original Article
184	Nakagawa T, Kawaguchi S, Mizokami A.	泌尿器科	A case of mesh erosion in the ureter eight years after a tension-free vaginal mesh surgery	Int Urogynecol J 2019 Dec;30(12):2199-2200.	Case report

5件

185	Yaegashi H, Kadomoto S, Naito R 他	泌尿器科	Metastatic urachal cancer treated effectively with gemcitabine/cisplatin combination chemotherapy and radiotherapy: A case report	Mol Clin Oncol 2019 Aug;11(2):139-142.	Case report
186	Mizokami A, Kimura G, Fujii Y 他	泌尿器科	Considering bone health in the treatment of prostate cancer bone metastasis based on the results of the ERA-223 trial	Int J Clin Oncol 2019 Dec;24(12):1629-1631.	Review
187	Nohara T, Kato Y, Nakano T 他	泌尿器科	Intraoperative hypotension caused by oral administration of 5-aminolevulinic acid for photodynamic diagnosis in patients with bladder cancer	Int J Urol 2019 Nov;26(11):1064-1068.	Original Article
188	Iijima M, Shigehara K, Igarashi H 他	泌尿器科	Y chromosome microdeletion screening using a new molecular diagnostic method in 1030 Japanese males with infertility	Asian Journal of Andrology 11-Oct-2019.22(4):368-371.	Original Article
189	Nakagawa T, Kadono Y, Naito R 他	泌尿器科	Factors Associated With Treatment Satisfaction After Robot-assisted Radical Prostatectomy	Anticancer Res 2019 Nov;39(11):6339-6346.	Original Article

5件

190	Kadomoto S, Izumi K, Hiratsuka K 他	泌尿器科	Tumor-Associated Macrophages Induce Migration of Renal Cell Carcinoma Cells via Activation of the CCL20-CCR6 Axis	Cancers (Basel) 2019 Dec 30;12(1):89.	Original Article
191	Naito R, Izumi K, Kadomoto S 他	泌尿器科	The Efficacy of Second- line Chemotherapy for Advanced or Metastatic Urothelial Cancer	Anticancer Res 2020 Feb;40(2):1141-1146.	Original Article
192	Kadomoto S, Makino T, Izumi K 他	泌尿器科	An important step in establishing a treatment strategy for small renal masses of clear cell renal cell carcinoma based on the significance of adverse histopathologic features on tumor needle biopsy	Ann Transl Med 2019 Dec;7(Suppl 8):S374.	Review
193	Kadomoto S, Izumi K, Hiratsuka K 他	泌尿器科	Reply to Comment on "Kadomoto, S. et al. Tumor-Associated Macrophages Induce Migration of Renal Cell Carcinoma Cells via Activation of the CCL20-CCR6 Axis" Cancers 2020 12, 89	Cancers (Basel) 2020 Feb 4;12(2):354.	Others
194	Kato Y, Shigehara K, Kawaguchi S 他	泌尿器科	Recovery of serum testosterone following neoadjuvant androgen deprivation therapy in Japanese prostate cancer patients treated with low-dose rate brachytherapy	Aging Male 2020 Feb 25:1-7.	Original Article

5件

195	Nakashima K, Makino T, Kadomoto S 他	泌尿器科	Initial Experience With Radium-223 Chloride Treatment at the Kanazawa University Hospital.	Anticancer Res 2019; 39(5):2607-2614.	Original Article
196	Kadono Y, Konaka H, Izumi K 他	泌尿器科	Efficacy and safety of cytokines versus first-line sunitinib and second-line axitinib for patients with metastatic renal cell carcinoma (ESCAPE study): A study protocol for phase III randomized sequential open-label study.	Contemporary Clinical Trials Communications 2019 Jun 26;15:100403.	Others
197	Kobayashi A, Yokogawa H, Mori N 他	眼科	Clinical Evaluation of the NS Endo-Inserter, a Novel Donor Inserter for Descemet's Stripping Automated Endothelial Keratoplasty.	Case Reports in Ophthalmology 2019, 10•3, 357-364	Original Article
198	Endo K, Ueno T, Ishikawa K 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Effects of l-carnitine administration on health-related quality of life during cisplatin-based chemoradiotherapy in patients with head and neck squamous cell carcinoma	Auris Nasus Larynx 2019 Jun, 46•3, 431-436	Original Article
199	Aga T, Endo K, Tsuji A 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Inhibition of autophagy by chloroquine makes chemotherapy in nasopharyngeal carcinoma more efficient	Auris Nasus Larynx 2019 Jun, 46•3, 443-450	Original Article

5件

200	Noda M, Hatano M, Hattori T 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Microglial activation in the cochlear nucleus after early hearing loss in rats	Auris Nasus Larynx 2019 Oct, 46・5, 716-723	Original Article
201	Hatano M, Kelly JB, Zhang H	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Area-dependent change of response in the rat's inferior colliculus to intracochlear electrical stimulation following neonatal cochlear damage	Scientific Reports 2019 Apr, 9・1, 5643	Original Article
202	Kano M, Kondo S, Wakisaka N 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Expression of estrogen receptor alpha is associated with pathogenesis and prognosis of human papillomavirus-positive oropharyngeal cancer	Int J Cancer 2019 Sep, 145・6, 1547-57	Original Article
203	Kasahara Y, Endo K, Ueno T 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Bone invasion-targeted chemotherapy with a novel anionic platinum complex (3Pt) for oral squamous cell carcinoma	Cancer Science 2019 Oct, 110・10, 3288-95	Original Article
204	Kobayashi E, Hwang D, Bheda-Malge A 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Inhibition of UCH-L1 Deubiquitinating Activity with Two Forms of LDN-57444 Has Anti-Invasive Effects in Metastatic Carcinoma Cells	Int J Mol Sci 2019 Jul, 20・15, 3733	Original Article

5件

205	Kase K, Ito M, Hatano M 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Modified meatotomyplasty for external auditory canal stenosis and lateralized tympanic membrane: a preliminary study	Acta Otolaryngol 2020 , 140・4、327-32 ()	Original Article
206	Imoto T, Kondo S, Wakisaka N 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Overexpression of Semaphorin 3A is a marker associated with poor prognosis in patients with nasopharyngeal carcinoma	Microorganisms 2020 Mar、8・3、423-35	Original Article
207	Ayumi Matsuoka , Yasunari Mizumoto , Masanori Ono 他	産科婦人科	Novel strategy of ovarian cancer implantation: Pre-invasive growth of fibrin-anchored cells with neovascularization.	Cancer Sci. 2019 Aug; 110(8):2658-2666.	Original Article
208	Yuka Ishijima , Takashi Iizuka , Kyosuke Kagami 他	産科婦人科	Prenatal diagnosis facilitated prompt enzyme replacement therapy for prenatal benign hypophosphatasia.	J Obstet Gynaecol. 2020 Jan 40(1):132-134.	Case report
209	Takashi Iizuka , Masanori Ono , Sakiko Masumoto 他	産科婦人科	Amniotic epithelial cells damage by oxidative stress in cases of diffuse chorioamniotic hemosiderosis.	J Obstet Gynaecol Res. 2019 Oct 45(10):2095-2099.	Case report

5件

210	Yuya Sakai , Masanori Ono , Takashi Iizuka 他	産科婦人科	Embryo transfer associated with hormone replacement therapy cycles using assisted reproductive technology increases placenta accrete spectrum.	J Obstet Gynaecol Res. 2019 Dec 45(12):2394-2399.	Original Article
211	Mitsuhiro Nakamura , Takeshi Obata , Takiko Daikoku 他	産科婦人科	The Association and Significance of p53 in Gynecologic Cancers: The Potential of Targeted Therapy.	Int J Mol Sci. 2019 Nov 20(21):5482.	Review
212	Hiroshi Fujiwara , Masanori Ono , Yukiyasu Sato 他	産科婦人科	Promoting Roles of Embryonic Signals in Embryo Implantation and Placentation in Cooperation with Endocrine and Immune Systems.	Int J Mol Sci. 2020 Mar 21(5):1885.	Review
213	Tennichi T, Taniguchi T.	麻酔科蘇生科	Accessory mitral valve tissue that caused a left ventricular outflow tract obstruction: a case report	JA Clinical Reports 2019,5:86	Original Article
214	Takashi Tennichi, Takumi Taniguchi	麻酔科蘇生科	A Single-Center Retrospective Observational Cohort Study on Postoperative Pain Management: Better with Continuous or Single Doses of Fentanyl with Acetaminophen?	Journal of Anesthesia & Clinical Research 2020, Vol.11 Iss.3 No:1000940	Original Article

5件

215	Nambu I, Misaki K, Uchiyama N 他	脳神経外科	High pressure in virtual postcoiling model is a predictor of internal carotid artery aneurysm recurrence after coiling.	Neurosurgery 84:607-615, 2019	Original Article
216	Hayashi Y, Sasagawa Y, Oishi M 他	脳神経外科	Contribution of Intracellular Pressure Elevation to Headache Manifestation in Pituitary Adenoma Evaluated With Intraoperative Pressure Measurement.	Neurosurgery 84(3):599-606, 2019	Original Article
217	Hayashi Y, Sasagawa Y, Oishi M 他	脳神経外科	Directional Regulation of Extrasellar Extension by Sellar Dura Integrity and Intrasphenoidal Septation In Pituitary Adenomas.	World Neurosurg 122:e130-e138, 2019	Original Article
218	Uno T, Hayashi Y, Sasagawa Y 他	脳神経外科	A suprasellar colloid cyst over an 11-year follow-up: case report and literature review.	World Neurosurgery S1878-8750(18)32828-6	Case report
219	Kawahara Y, Furuta T, Sabit H 他	脳神経外科	Ligand-dependent EphB4 activation serves as an anchoring signal in glioma cells.	Cancer Letters 449: 56-65, 2019	Original Article

5件

220	Hayashi Y, Sasagawa Y, Oishi M 他	脳神経外科	Radiological and endocrinological evaluations with grading of hypothalamic perifocal edema caused by craniopharyngiomas.	Pituitary 22: 146-155, 2019	Original Article
221	Hayashi Y, Kobayashi M, Sasagawa Y 他	脳神経外科	Entirely suprasellar Rathke cleft cysts: clinical features and surgical efficacy of endoscopic endonasal transtuberculum sellae approach.	World Neurosurg 126: e921-e929, 2019	Original Article
222	Tamai S, Kinoshita M, Sabit H 他	脳神経外科	A case of metastasis of a glioblastoma with primitive neuronal component to the lung.	Neuropathology 39: 218-223, 2019	Case report
223	Demura M, Hayashi Y, Sasagawa Y 他	脳神経外科	Intraorbital solitary fibrous tumor requiring preoperative embolization of feeding artery.	Asian J Neurosurg 14: 593-597, 2019	Case report
224	Nakajima R, Kinoshita M, Okita H 他	脳神経外科	Awake surgery for glioblastoma can preserve independence level, but is dependent on age and the preoperative condition.	J Neurooncol 144: 155-163, 2019	Original Article

5件

225	Kimura R, Miyashita K, Tamai S 他	脳神経外科	Efficacy of cyst- cisternal shunt for refractory cyst regrowth of cystic vestibular schwannomas.	Acta Neurochir (Wien) 161: 1817-1819, 2019	Case report
226	Kitabayashi T, Dong Y, Furuta T 他	脳神経外科	Identification of GSK3 $\beta$ inhibitor kenpaullone as a temozolomide enhancer against glioblastoma.	Sci Rep 9: 10049, 2019	Original Article
227	Nakajima R, Kinoshita M, Shinohara H 他	脳神経外科	The superior longitudinal fascicle: Reconsidering the fronto-parietal neural network based on anatomy and function.	Brain Imaging and Behavior 2019 Aug 29	Original Article
228	Sakaguchi M, Nakano Y, Honda- Kitahara M 他	脳神経外科	Two cases of primary supratentorial intracranial rhabdomyosarcoma with DICER1 mutation which may belong to a “spindle cell sarcoma with rhabdomyosarcoma-like feature, DICER1 mutant”	Brain Tumor Pathol 36: 174- 182, 2019	Case report
229	Kamide T, Burkhardt JK, Tabani H 他	脳神経外科	Microsurgical Clipping Techniques and Outcomes for Paraclinoid Internal Carotid Artery Aneurysms.	Oper Neurosurg (Hagerstown) 18(2):183-192	Original Article

5件

230	Aida Y, Kamide T, Ishii H 他	脳神経外科	Soluble receptor for advanced glycation end products as a biomarker of symptomatic vasospasm in subarachnoid hemorrhage.	J Neurosurg 2019 Nov 1;1-9	Original Article
231	Nakahara M, Misaki K, Tsutsui T 他	脳神経外科	Effect of unilateral carotid artery stenting on cognitive function in patients with severe bilateral stenosis: a case report	World Neurosurg 2019 Dec 19	Case report
232	Kimura R, Hayashi Y, Sasagawa Y 他	脳神経外科	Progressively enlarged convexity arachnoid cysts in elderly patients: A report of two cases.	World Neurosurg 135:253-258	Case report
233	Miyashita K, Kimura R, Tamai S 他	脳神経外科	Intratumoral continuous facial nerve stimulation for surgical resection of cystic vestibular schwannoma: Technical note	Surg Neurol Int 2019,10:231,	Original Article
234	Nakajima K, Okuda K, Matsuo S 他	核医学診療科	Making the invisible visible - Phase dyssynchrony has potential as a new prognostic marker.	J Nucl Cardiol 2019; 26:298-302	Others

5件

235	Nakajima K, Okuda K, Verberne HJ.	核医学診療科	Phase dyssynchrony and 123I-meta-iodobenzylguanidine innervation imaging towards standardization.	J Nucl Cardiol 2019; 26: 519-523	Others
236	Kinuya S.	核医学診療科	Activities for the development of targeted radionuclide therapy in Japan.	Nucl Med Mol Imaging 2019; 1: 35-37	Others
237	Watanabe S, Nakajima K, Kinuya S.	核医学診療科	Imaging modalities for drug-related osteonecrosis of the jaw (5), utility of bone scintigraphy and 18F-FDG PET/CT in early detection and risk assessment of medication-related osteonecrosis of the jaw (secondary publication).	Jpn Dent Sci Rev 2019; 55: 76-79	Review
238	Nakajima K, Yoneyama H, Slomka P.	核医学診療科	Beware the pitfalls of beauty: High-quality myocardial images with resolution recovery.	J Nucl Cardiol 2019 Apr 10. (オンライン)	Others
239	Wakabayashi H, Inaki A, Yoshimura K 他	核医学診療科	A phase I clinical trial for [131I]meta-iodobenzylguanidine therapy in patients with refractory pheochromocytoma and paraganglioma.	Sci Rep 2019; 1: 7625	Original Article

5件

240	Inaki A, Nakajima K, Wakabayashi H 他	核医学診療科	Fully automated analysis for bone scintigraphy with artificial neural network: usefulness of bone scan index (BSI) in breast cancer.	Ann Nucl Med 2019; 33: 755-765	Original Article
241	Wakabayashi H, Konishi T, Yoneyama H 他	核医学診療科	Utility of 123I-MIBG standardized uptake value in patients with refractory pheochromocytoma and paraganglioma.	Asia Ocean J Nucl Med Biol 2019; 7: 115-120	Original Article
242	Nakajima K, Okuda K, Maruyama K.	核医学診療科	Demystifying dyssynchrony for diagnosis and prognosis: Tips for measuring heterogeneous phase distribution.	J Nucl Cardiol 2019 Aug 19. (オンライン)	Others
243	Nakajima K, Okuda K, Komatsu J.	核医学診療科	What does diagnostic threshold mean? Deterministic and probabilistic considerations.	J Nucl Cardiol 2019 Sep 23. (オンライン)	Others
244	Taki J, Inaki A, Wakabayashi H 他	核医学診療科	Postconditioning accelerates myocardial inflammatory resolution demonstrated by 14C-Methionine imaging and attenuates ventricular remodeling after ischemia and reperfusion.	Circ J 2019; 83: 2520-2526	Original Article

5件

245	Ooi K, Inoue N, Matsushita K 他	歯科口腔外科	Factors related to patients' nutritional state after orthognathic surgery	Oral and Maxillofacial Surgery 2019 Dec;23(4):481-486.	Original Article
246	Kato K, Miyazawa H, Kobayashi H 他	歯科口腔外科	Caveolin-1 Expression at Metastatic Lymph Nodes Predicts Unfavorable Outcome in Patients with Oral Squamous Cell Carcinoma	Pathology & Oncology Research 2020 Jan 6.	Original Article
247	Kato S, Murakami H, Demura S 他	リハビリテーション部	Motor and Sensory Impairments of the Lower Extremities After L2 Nerve Root Transection During Total en Bloc Spondylectomy.	Spine (Phila Pa 1976) 44: 1129-1136, 2019	Original Article
248	Kato S, Demura S, Kurokawa Y 他	リハビリテーション部	Correlation between osteoporotic vertebral fracture and abdominal trunk muscle strength in middle-aged and older women.	Arch Osteoporos 14: 106, 2019	Original Article
249	Kato S, Demura S, Murakami H 他	リハビリテーション部	Surgical metastasectomy for renal cell carcinoma: which patients are the real candidates for surgery?	Ann Transl Med 7(Suppl): S273, 2019	Original Article

5件

250	Kato S, Demura S, Matsubara H 他	リハビリテーション部	Utility of bone SPECT/CT to identify the primary cause of pain in elderly patients with degenerative lumbar spine disease.	J Orthop Surg Res 14: 185, 2019	Original Article
251	Kato S, Murakami H, Demura S 他	リハビリテーション部	Kidney and thyroid cancer-specific treatment algorithm for spinal metastases: a validation study.	World Neurosurg 122: e1305-e1311, 2019	Original Article
252	I Takahashi , T Matsuzaki , H Kuroki 他	リハビリテーション部	Joint unloading inhibits articular cartilage degeneration in knee joints of a monosodium iodoacetate-induced rat model of osteoarthritis	Osteoarthritis and Cartilage July 2019,27(7),1084-1093	Original Article
253	Kato S, Murakami H, Demura S 他	リハビリテーション部	Abdominal trunk muscle weakness and its association with chronic low back pain and risk of falling in older women. BMC Musculoskelet Disord.	BMC Musculoskelet Disord 20: 273, 2019	Original Article
254	Naoki Mugii , Fujiko Someya , Shinichi Noto 他	リハビリテーション部	Availability of EuroQol- 5-Dimensions-5- Level(EQ-5D-5L) as health-related QOL assessment for Japanese systemic sclerosis patients	Modern Rheumatology 2020,30(4):681-686.	Original Article

5件

255	I Takahashi, Taro Matsuzaki, Hiroshi Kuroki, Masahiro Hosono	リハビリテーション部	Disuse histological changes of an unloading environment on joint components in rat knee joints	Osteoarthritis and Cartilage Open November-December 2019, Volume 1, Issues 1-2	Original Article
256	Hirohito Yamazaki, Kensuke Ohta, Hiroatsu Iida 他	輸血部	Hematologic recovery induced by eltrombopag in Japanese patients with aplastic anemia refractory or intolerant to immunosuppressive therapy.	Int J Hematol. 2019 Aug;110(2):187-196.	Original Article
257	Rena Yamazaki, Masafumi Inokuchi, Satoko Ishikawa 他	周産母子センター	Ovarian hyperstimulation closely associated with resumption of follicular growth after chemotherapy during tamoxifen treatment in premenopausal women with breast cancer: a multicenter retrospective cohort study.	BMC Cancer. 2020 Jan 20(1):67.	Others
258	Kohei Hosokawa, Hiroki Mizumaki, Mahmoud I Elbadry 他	高密度無菌治療部	Clonal hematopoiesis by SLIT1-mutated hematopoietic stem cells due to a breakdown of the autocrine loop involving Slit1 in acquired aplastic anemia.	Leukemia 2019 Nov;33(11):2732-2766	Original Article
259	Koji Sato, Masaki Okajima, Takumi Taniguchi	集中治療部	Association of Persistent Intense Thirst With Delirium Among Critically Ill Patients: A Cross-sectional Study	Journal of Pain and Symptom Management 2019.6 57(6) 1114-1120	Original Article

5件

260	Miho Nakamura, Junya Nakade, Tadashi Toyama 他	集中治療部	Severe intoxication caused by sodium-glucose cotransporter 2 inhibitor overdose: a case report	BMC Pharmacology and Toxicology 2020.1.9 21(1) 5	Original Article
261	Nakada S, Sasagawa Y, Tachibana O 他	病理部	The clinicopathological analysis of receptor tyrosine kinases in meningiomas: the expression of VEGFR-2 in meningioma was associated with a higher WHO grade and shorter progression-free survival.	Brain Tumor Pathol. 2019 Jan;36(1):7-13.	Original Article
262	Sakaguchi M, Nakano Y, Honda-Kitahara M 他	病理部	Two cases of primary supratentorial intracranial rhabdomyosarcoma with DICER1 mutation which may belong to a "spindle cell sarcoma with rhabdomyosarcoma-like feature, DICER1 mutant".	Brain Tumor Pathol 2019 Oct;36(4):174-182	Case report
263	Mizushima I, Kasashima S, Fujinaga Y 他	研修医・専門医総合教育センター	Clinical and pathological characteristics of IgG4-related periaortitis/periarteritis and retroperitoneal fibrosis diagnosed based on experts' diagnosis	Ann Vasc Dis. 2019,12(4): 460-72,	Original Article
264	Mizushima I, Kasashima S, Fujinaga Y 他	研修医・専門医総合教育センター	IgG4-related periaortitis/periarteritis : an under-recognized condition that is potentially life-threatening	Mod Rheumatol. 2019、 29(2): 240-50	Original Article

5件

265	Suzuki C, Kiyota N, Imamura Y 他	がんセンター	Exploratory analysis of prognostic factors for lenvatinib in radioiodine-refractory differentiated thyroid cancer.	Head Neck 2019 Sep;41(9):3023-3032.	Original Article
266	Adachi Y, Yano S.	がんセンター	Caput Medusae-like Venous Dilatation in Lung Cancer.	Intern Med 2019 Nov 15;58(22):3341-3342.	Case report
267	Kita K, Fukuda K, Takahashi H 他	がんセンター	Patient-derived xenograft models of non-small cell lung cancer for evaluating targeted drug sensitivity and resistance	Cancer Sci 2019 Oct;110(10):3215-3224.	Original Article
268	Ohtsubo K, Miyake K, Arai S 他	がんセンター	Aberrant methylation of tumor suppressive miRNAs in bile from patients with pancreaticobiliary diseases.	Anticancer Res 2019 Oct;39(10):5449-5459.	Original Article
269	Takeuchi S, Hase T, Shimizu S 他	がんセンター	Phase I study of vorinostat with gefitinib in BIM deletion polymorphism/EGFR mutation double-positive lung cancer.	Cancer Sci 2020 Feb;111(2):561-570.	Original Article

5件

270	Kita K, Fukuda K, Takahashi H 他	がんセンター	Patient-derived xenograft models of non-small cell lung cancer for evaluating targeted drug sensitivity and resistance.	Cancer Sci 2019 Oct;110(10):3215-3224	Original article
271	Kawakami T, Mizushima I, Yamada K 他	薬剤部	Abundant a proliferation-inducing ligand (APRIL)-producing macrophages contribute to plasma cell accumulation in immunoglobulin G4-related disease	Nephrol Dial Transplant. 2019, 34(6): 960-9	Original Article

2件

計 271件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 審査対象に関する事項、委員会の組織に関する事項、委員会の会議に関する事項、申請手続き及び結果の報告に関する事項、疑義申立てに関する事項、迅速審査に関する事項、実施状況の調査等に関する事項、資料の入手に関する事項、委員会の運営に関する事項、記録の保存に関する事項	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 委員会の目的及び職務に関する事項、委員会の組織及び組織運営に関する事項	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年10回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年12回
・ 研修の主な内容 臨床研究の研究責任者、研究分担者その他の研究の実施に携わる者又は今後研究の実施に携わる予定の者を対象に、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に関する事項、研究デザインに関する事項、臨床研究の品質保証に関する事項、その他医学系研究の実施に当たり必要となる知識・技術等に関連する事項について講習会を実施	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各専門研修プログラムに沿って各診療科（部）に所属し、大学病院（医員など）及び関連病院を循環しながら修練を行い、それぞれの学会等の専門医、あるいは認定医の資格の取得を目指します。

また、診療技術の習得だけでなく、臨床研究も行うことが可能である。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	269 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
金子 周一	消化器内科	科長	38年	
篁 俊成	内分泌・代謝内科	科長	32年	
川野 充弘	リウマチ・膠原病内科	科長	33年	
笠原 寿郎	呼吸器内科	科長	34年	
高村 雅之	循環器内科	科長	28年	
坂井 宣彦	腎臓内科	科長	24年	
中尾 眞二	血液内科	科長	40年	
野村 英樹	総合診療科	科長	32年	
山田 正仁	脳神経内科	科長	40年	
菊池 充	神経科精神科	科長	26年	
和田 泰三	小児科	科長	28年	
香田 渉	放射線科	科長	25年	
高松 繁行	放射線治療科	科長	20年	
松下 貴史	皮膚科	科長	21年	
小川 恵子	漢方医学科	科長	23年	
竹村 博文	心臓血管外科	科長	35年	
松本 勲	呼吸器外科	科長	29年	
伏田 幸夫	胃腸外科	科長	34年	
田島 秀浩	肝胆膵・移植外科	科長	28年	
石川 聡子	乳腺外科	科長	12年	
酒井 清祥	小児外科	科長	18年	
土屋 弘行	整形外科	科長	37年	
溝上 敦	泌尿器科	科長	33年	
杉山 和久	眼科	科長	36年	
吉崎 智一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	科長	34年	
藤原 浩	産科婦人科	科長	37年	
谷口 巧	麻酔科蘇生科	科長	29年	
中田 光俊	脳神経外科	科長	26年	
絹谷 清剛	核医学診療科	科長	34年	
八幡 徹太郎	リハビリテーション科	科長	28年	
後藤 由和	救急科	科長	36年	
池田 博子	病理診断科	科長	18年	
谷口 巧	集中治療部	部長	29年	
矢野 聖二	がんセンター	センター長	30年	
川尻 秀一	歯科口腔外科	科長	32年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容<ul style="list-style-type: none"><li>・新規採用職員オリエンテーション（詳細別添） 新規採用職員に対し、本院職員として職務遂行に必要な知識及び心構え等の基本的な事項を習得させ、資質向上と業務効率の増進を図ることを目的とする。</li></ul></li><li>・研修の期間・実施回数<ul style="list-style-type: none"><li>・平成31年4月1日（月）～平成31年4月3日（水）</li></ul></li><li>・研修の参加人数<ul style="list-style-type: none"><li>・132名（うち、医師・歯科医師以外の者は90名）</li></ul></li></ul>
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容<ul style="list-style-type: none"><li>・情報セキュリティ研修</li></ul></li><li>・研修の期間・実施回数<ul style="list-style-type: none"><li>・令和元年7月1日（月）～令和元年9月30日（月）※e-ラーニング</li></ul></li><li>・研修の参加人数<ul style="list-style-type: none"><li>・1,002名</li></ul></li></ul>
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

# 平成31年度 新規採用職員オリエンテーション日程表

日程: 平成31年4月1日(月)、2日(火)、3日(水)

会場:宝ホール(外来診療棟4階)

	4月1日(月)	4月2日(火)	4月3日(水)
8:30	受付 (8:30~8:40)	感染対策について 感染制御チーム (ICT) 医師 感染制御チーム (ICT) 薬剤師 感染制御チーム (ICT) 臨床検査技師 感染制御チーム (ICT) 看護師  (8:30~10:15)	リスクマネジメントについて (インフォームドコンセント、輸血に係る説明を含む) 医療安全管理部 GRM (医師) 医療安全管理部 GRM (看護師) 医療安全管理部 GRM (薬剤師) ME機器管理センター 臨床工学技士長  (8:30~10:15)
	辞令交付(病院長から) (8:40~9:00)		
9	幹部職員紹介 (9:00~9:05)		
	訓示・病院の概要について 病院長 (9:05~9:25)		
	オリエンテーション日程説明 (9:25~9:30)		
	経営戦略について 病院長補佐(経営企画・医療情報担当) (9:30~10:00)		
10	個人情報の取り扱いについて 病院情報システムの利用について 経営企画部長 (10:00~10:45)	休憩 (10:15~10:30)	休憩 (10:15~10:30)
	休憩 (10:45~11:00)	臨床倫理について 臨床倫理コンサルティングチーム リーダー  (10:30~11:15)	医療人として必要な基本姿勢・態度 (「患者さんの権利」及び「患者さんに守っていただくこと」を含む)  看護部副看護部長(教育担当) 看護部副看護部長(医療安全担当) 医事課副課長(患者支援担当)  (10:30~12:00)
11	ハラスメントの防止について 学長補佐(ハラスメント防止担当) (11:00~12:00)	本院の経営について 本学が経理する全ての経費の適正な 執行について 経営管理課長  (11:15~12:00)	
12	昼 食 (12:00~13:00)		
13	診療報酬制度について 医事課副課長(診療支援担当) (13:00~13:30)	情報セキュリティ対策について ネットワークIDの取得と利用について 情報部情報推進課  (13:00~13:25)	医療用放射線の安全性について 放射線部 診療放射線技師長  (13:00~14:00)
	事務手続き等について 総務課各担当係 (13:30~14:00)	防火管理について 防火訓練、災害対応、施設説明、 ストレッチャー訓練 総務課総務係長 看護部看護師長(キャリア開発センター)  (13:25~15:00)	
14	チーム医療と看護業務 看護部副看護部長(総務担当) (14:00~15:00)	※消火器、消火栓等を使用して屋外で行います。汚れてもよい服装で参加してください。	先輩からのメッセージ 「1年間(新人時代)を振り返って」 H30採用職員、若手職員等  (14:00~15:00)
15	初期臨床研修医 (研修医・専門医 総合教育センター による研修)	初期臨床研修医 (研修医・専門医 総合教育センター による研修)	初期臨床研修医 (研修医・専門医 総合教育センター による研修)
	看護師 (看護部による研修)	看護師 (看護部による研修)	看護師 (看護部による研修)
	その他の職員 (職場研修)	その他の職員 (職場研修)	その他の職員 【BLS研修】 16:00~病棟2階カ ンファレンスルー

院内研修としてオリエンテーション対象者以外の職員も受講可(新規採用医員必須)

院内研修としてオリエンテーション対象者以外の職員も受講可(新規採用医員優先)

職種毎の研修になりますので、所属部署の指示に従ってください。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 蒲田 敏文
管理担当者氏名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化器内科長 金子 周一</li> <li>・リウマチ・膠原病内科長 川野 充弘</li> <li>・循環器内科長 高村 雅之</li> <li>・血液内科長 中尾 眞二</li> <li>・脳神経内科長 山田 正仁</li> <li>・小児科長 和田 泰三</li> <li>・放射線科長 香田 渉</li> <li>・皮膚科長 松下 貴史</li> <li>・漢方医学科長 小川 恵子</li> <li>・呼吸器外科長 松本 勲</li> <li>・肝胆膵・移植外科長 田島 秀浩</li> <li>・小児外科長 酒井 清祥</li> <li>・脊椎・脊髄外科長 出村 諭</li> <li>・眼科長 杉山 和久</li> <li>・産科婦人科長 藤原 浩</li> <li>・脳神経外科長 中田 光俊</li> <li>・歯科口腔外科長 川尻 秀一</li> <li>・救急科長 後藤 由和</li> <li>・薬剤部長 崔 吉道</li> <li>・経営管理課長 元谷内 洋志</li> <li>・医療支援課長 木下 久美子</li> <li>・内分泌・代謝内科長 篁 俊成</li> <li>・呼吸器内科長 笠原 寿郎</li> <li>・腎臓内科長 坂井 宣彦</li> <li>・総合診療科長 野村 英樹</li> <li>・神経科精神科長 菊知 充</li> <li>・子どものこころの診療科長 菊知 充</li> <li>・放射線治療科長 高松 繁行</li> <li>・形成外科長 小室 明人</li> <li>・心臓血管外科長 竹村 博文</li> <li>・胃腸外科長 伏田 幸夫</li> <li>・乳腺科長 石川 聡子</li> <li>・整形外科長 土屋 弘行</li> <li>・泌尿器科長 溝上 敦</li> <li>・耳鼻咽喉科・頭頸部外科長 吉崎 智一</li> <li>・麻酔科蘇生科長 谷口 巧</li> <li>・核医学診療科長 絹谷 清剛</li> <li>・リハビリテーション科長 八幡 徹太郎</li> <li>・病理診断科長 池田 博子</li> <li>・総務課長 北村 久美子</li> <li>・医事課長 山田 浩美</li> </ul>

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の第三第二項に掲げる事項	病院日誌	医事課
		各科診療日誌	医事課
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医事課
		看護記録	看護部、医事課
		検査所見記録	医事課
		エックス線写真	医事課
		紹介状	医事課
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の第三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	経営管理課、医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課、経営管理課 医薬保健系事務部
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部

規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療支援課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療支援課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療支援課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療支援課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療支援課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療支援課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部、医療支援課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部、医療支援課
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 医療支援課
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経営管理課、ME 機器管理センター、放射線部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	経営管理課		

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部、医療支援課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課
		医療安全管理部門の設置状況	総務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療支援課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療支援課
		監査委員会の設置状況	総務課、医療支援課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療支援課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課、医療支援課
		職員研修の実施状況	医療支援課、総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療支援課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務部		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務部		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 蒲田 敏文	
閲覧担当者氏名	総務課長 北村 久美子	
閲覧の求めに応じる場所	会議室	
閲覧の手続の概要 諸記録の開示（閲覧を含む）を請求する者（以下「開示請求者」）は、国立大学法人金沢大学に対し、法人文書開示請求書を提出する。 国立大学法人金沢大学は、開示請求があった日から特別な場合を除き30日以内に開示決定等を行い、開示請求者に通知する。 開示請求者は、法人文書開示決定通知書を本院へ持参し、閲覧を実施する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

## 規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>(1) 職員ひとりひとりが安全に関する認識を高め、医療事故防止に積極的に取り組むと同時に、病院全体としても組織的に医療に係る安全管理事故防止に取り組み、医療事故等の未然の防止を目指す。</p> <p>(2) 医療安全管理委員会、医療安全管理部、医療安全管理者、リスクマネジャー等による医療安全管理体制を整備し、病院全体として医療事故防止及び医療全体の向上に努める。</p> <p>(3) 医療安全管理のための研修を企画し、病院職員全体が 2 回以上受講できるようにする。</p> <p>(4) 「医療事故防止マニュアル」の作成、医療事故等の報告事例の検討など、医療安全の確保を目的とした改善方策を実施する。</p> <p>(5) 医療事故が発生した場合にはおいては、「医療安全管理マニュアル」に沿って対応し、医療上の最善の処置を講ずる。また、患者家族に対して事実を速やかにわかりやすく説明する。</p> <p>(6) 患者との信頼関係を築くため、また開かれた医療を推進するため、情報の開示及び提供に積極的に対応していく。</p> <p>(7) 患者相談室を設置し、患者及び家族からの医療安全に関する要望、苦情及び不満を真摯に受け止め、その解決に尽力する。</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無 (有・無)</p> <p>・ 開催状況：年 13 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療に係る安全管理対策に関すること。</p> <p>(2) 医療事故防止対策に関すること。</p> <p>(3) 発生した医療事故等の原因の調査及び分析に関すること。</p> <p>(4) 分析結果を活用した改善策の立案及び実施並びに職員への周知に関すること。</p> <p>(5) 改善策の実施状況の調査及び当該方策の見直しに関すること。</p> <p>(6) 患者が死亡若しくは死産した場合及び濃厚な処置や治療を要した事象が発生した場合の報告の実施状況の確認に関すること。</p> <p>(7) 安全管理のための教育及び研修に関すること。</p> <p>(8) その他医療に係る安全管理及び医療事故防止に関すること。</p> <p>(9) 改善策の実施状況の調査等の目的のため、定期的に関係部署の巡回を行う。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6 回
<p>・ 研修の内容 (すべて)：</p> <p>【平成 31 (令和元) 年度医療安全研修】</p> <p>・ 5/13 「医療事故再発防止に向けた提言-気管切開・胃管に関連した死亡事例-」</p> <p>・ 6/18 「RRRTの活動について」「除細動器の基礎知識」「深部静脈血栓予防 SC D700の適正使用方法」</p> <p>・ 7/13 「日常診療の落とし穴 ” 医源性末梢神経損傷」 「未承認薬等医薬品の体系的把握と副作用報告」</p> <p>・ 10/7 「インシデント報告が病院を強くする」</p> <p>・ 10/15 「意思決定能力の評価とアドバンス・ケア・プランニング」</p> <p>・ 12/6 「医薬品の損耗について」「安全な持参薬の管理」「Ai (Autopsy imaging) の運用について」</p> <p>【その他】※ 4 月に 1 回、その後は随時開催 新規採用者研修 「リスクマネジメントについて」</p>	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (  有 ・ 無 )
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
  - 事故報告等の分析結果を現場へフィードバック
  - 医療従事者の医療事故防止に関する教育
  - 事故防止のための基礎知識の提供
  - 事故報告書等から必要なマニュアルを作成
  - インシデントサマリーに再発防止策を提案
  - 事故防止マニュアルの見直し
  - GRM等による医療現場のラウンド
  - 院内の医療安全ニュースや啓発ポスターの配布
  - 院外の事故情報の提供による注意喚起

(注) 前年度の実績を記入すること。

## 規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>2. 院内感染対策のための委員会に関する基本的事項</li> <li>3. 従事者に対する院内感染対策のための研修に関する基本方針</li> <li>4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>5. 院内感染症発生時の対応に関する基本方針</li> <li>6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>7. 抗菌薬の適正使用に関する基本方針</li> <li>8. 院内感染対策の推進のために必要なその他の基本方針</li> </ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>以下の事項を審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 院内感染予防の方策及び監視に関すること。</li> <li>(2) 院内感染対策のガイドラインの策定及びその実施に関すること。</li> <li>(3) 院内感染についての教育活動に関すること。</li> <li>(4) 院内感染の調査に関すること。</li> <li>(5) 感染制御部の運営に必要な事項に関すること。</li> <li>(6) その他院内感染に関して委員会が必要と認める事項。</li> </ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>【令和元年度】</p> <p>「感染対策および薬剤耐性に関する細菌について」 5/30</p> <p>「制度としての院内感染対策および細菌同定検査について」 8/7</p> <p>「栄養ゼミナール」 9/27</p> <p>「褥瘡対策講演会」 2/17</p> <p>【その他】</p> <p>新規採用者研修（随時開催）</p> <p>対象別研修（毎年）</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 院内感染サーベイランスの実施と分析・評価</li> <li>(2) ICTラウンドによる感染対策実施行動の確認と指導</li> <li>(3) 職業感染防止対策のための計画・実施・改善</li> <li>(4) 感染管理システムを活用した情報共有</li> <li>(5) 感染制御担当者（ICM）による現場における院内感染対策活動の実施及び所属職員への周知徹底</li> </ol>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>令和元年度実施 医療安全研修（医薬品安全管理研修 2019年12月6日実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品の損耗の実態と取り扱いについて</li> <li>・ 高額医薬品について</li> <li>・ 安全な持参薬管理について</li> </ul>	
<p>③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (有・無)</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医薬品の採用</li> <li>2) 医薬品情報の収集・管理・提供</li> <li>3) 医薬品の購入管理</li> <li>4) 外来および入院患者への医薬品の供給</li> <li>5) 病棟における医薬品の管理</li> <li>6) 入院患者への医薬品使用</li> <li>7) ハイリスク薬の取り扱い</li> <li>8) 院内製剤の取り扱い</li> <li>9) 外来患者への情報提供と薬学的指導</li> <li>10) 外来・中央診療施設の薬品管理</li> <li>11) 放射性医薬品の安全管理・安全使用</li> </ol> </li> </ul>	
<p>④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： <p>シェーグレン症候群に対するシクロフォスファミド(エンドキサン注)の適応外使用 患者は既治療として、ステロイド療法、免疫グロブリン製剤による治療を実施するも難治性であり、「シェーグレン症候群治療ガイドライン2017」に準じてシクロフォスファミド(エンドキサン注)によるパルス療法が実施された。</p> </li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>未承認等の医薬品の使用の情報については調剤担当薬剤師や病棟担当薬剤師が処方鑑査で把握する。把握した内容を副薬剤部長が集約し、医薬品安全管理責任者（薬剤部長）に適宜報告するとともに、根拠資料（ガイドライン、文献等）を集積・保管する。 未承認等の医薬品および採用されている医薬品全般の情報については、医薬品情報管理担当薬剤師が添付文書その他、医薬品製造販売業者、行政機関、学術誌等から収集・管理し、必要なものについては当該医薬品を取り扱う医療スタッフに周知する。 医薬品安全管理責任者は、院内各部署に置く医薬品安全管理主任者（リスクマネージャーが兼務）の立ち会いの下に定期的に院内ラウンドを実施し、医薬品安全使用のための業務の実施状況を確認する。改善が必要と認められる事案についてはこれを指示し、結果を医療安全管理委員会に報告する。また未承認等医薬品の情報等をふまえ、必要に応じて診療科等に注意喚起情報を周知する。</p> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 3 1 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： 有効性、安全性に関する事項、使用方法、保守点検に関する事項、不具合等が発生した場合の対応、使用に関して特に法令上遵守すべき事項</li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 外観チェック、動作チェック、漏れ電流チェック、精度管理、バッテリー性能チェック</li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば)： 該当なし</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： 定期点検時の点検項目や方法の見直し</li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

## 規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>副病院長（医療安全担当）が医療安全管理責任者として、医療安全管理部、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（4名）
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報管理担当者が PMDA メディナビやメーカーからの情報、文献、新聞等から収集、整理し、緊急度や周知すべき対象等に応じて、院内メールや印刷物の配布を行う。電子カルテシステム内の医薬品情報 web 検索システムや院内業務支援ページより閲覧が可能。また病棟担当者等による病棟勉強会や、院内の医薬品安全管理研修会での周知も定期的に行っている。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>病棟担当および調剤担当の薬剤師が処方監査で、また薬剤師が常駐していない診療科等においてはリスクマネジャーが未承認等の医薬品の処方を把握している。対応内容は、担当副薬剤部長に集約し、薬剤部長（医薬品安全管理責任者）に適宜報告するとともに、エクセルファイルと根拠資料（ガイドラインや文献）をファイリングして、事例を集積している。また併用禁忌薬については医薬品情報管理担当者が部門システムを用いて定期的にはリストアップし薬剤部長に報告している。今後は、電子カルテに JAPIC データベースを搭載し、病名からもチェックが可能なシステムを準備中である。</p> <p>・担当者の指名の有無 有・無</p> <p>・担当者の所属・職種：別紙のとおり</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	○有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (○有・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 : 医療安全管理者等による IC 監査を実施した。(年 3 回)</p> <p>●主な指導内容:</p> <p>・「輸血実施手順書」の改定にともなう輸血同意書再取得について、再度確認すること</p> <p>・説明実施及び同意取得を行った場合の、診療録へ記載内容不備について</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	○有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容:</p> <p>各診療科の監査担当医が実施した診療録監査、インフォームドコンセント監査の結果をもとに、診療録等の管理責任者が記載状況及び内容の確認を行った。(年 6 回)</p> <p>主な指導内容: インフォームドコンセント実施時、経過記録への説明内容及び患者の理解度等の記載。検査、手術、麻酔に関する要点の経過記録への記載等</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	○有・無
<p>・所属職員: 専従(4)名、専任(2)名、兼任(11)名 うち医師: 専従(1)名、専任(2)名、兼任(4)名 うち薬剤師: 専従(1)名、専任(0)名、兼任(1)名 うち看護師: 専従(1)名、専任(0)名、兼任(3)名</p> <p>(注) 報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容:</p> <p>(1) 医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策の企画・立案及び業務改善計画に関すること。</p> <p>(2) 医療安全管理マニュアルの作成等に関すること。</p> <p>(3) 安全管理のための教育及び研修の企画・運営に関すること。</p> <p>(4) インシデント報告及び患者の死亡若しくは死産報告の調査・分析に関すること。</p> <p>(5) リスクマネジャーとの連絡調整に関すること。</p> <p>(6) 医療事故等に係る診療録及び看護記録等の記載状況の確認・指導に関すること。</p> <p>(7) 患者及び家族等への説明等、医療事故発生時の対応状況の確認・指導に関すること。</p> <p>(8) 医療事故等に係る原因究明の確認及び指導に関すること。</p> <p>(9) 金沢大学附属病院医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成、保存その他当該委員会の事務に関すること。</p> <p>(10) その他医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策に関すること。</p>	

## 【モニタリングの具体例】

- ・入院患者に対する肺血栓塞栓症リスク評価と予防策の実施率
- ・注射薬投与時の PDA 認証の実施率
- ・RRTコール報告
- ・病理診断レポートの未読/既読状況
- ・画像診断レポートの未読/既読状況
- ・医療安全研修の受講状況の把握及びアンケートにより理解度の調査

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

## ⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 2 件）、及び許可件数（ 2 件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（  有 ・ 無 ）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  有 ・ 無 ）
- ・活動の主な内容：
  - (1) 高難度新規医療技術等の提供の適否決定に関すること。
  - (2) 高難度新規医療技術等の提供後の確認に関すること。
  - (3) その他高難度新規医療技術等の提供に関すること。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（  有 ・ 無 ）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（  有 ・ 無 ）

## ⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 11 件）、及び許可件数（ 11 件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（  有 ・ 無 ）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  有 ・ 無 ）
- ・活動の主な内容：
  - (1) 高難度新規医療技術等の提供の適否決定に関すること。
  - (2) 高難度新規医療技術等の提供後の確認に関すること。

<p>(3) その他高難度新規医療技術等の提供に関すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> </ul>
<p>⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 277 件</li> <li>・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 85 件</li> <li>・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療に係る安全管理対策に関すること。</li> <li>(2) 医療事故防止対策に関すること。</li> <li>(3) 発生した医療事故等の原因の調査及び分析に関すること。</li> <li>(4) 分析結果を活用した改善策の立案及び実施並びに職員への周知に関すること。</li> <li>(5) 改善策の実施状況の調査及び当該方策の見直しに関すること。</li> <li>(6) 患者が死亡若しくは死産した場合及び濃厚な処置や治療を要した事象が発生した場合の報告の実施状況の確認に関すること。</li> <li>(7) 安全管理のための教育及び研修に関すること。</li> <li>(8) その他医療に係る安全管理及び医療事故防止に関すること。</li> <li>(9) 改善策の実施状況の調査等の目的のため、定期的に関係部署の巡回を行う</li> </ul> </li> </ul>
<p>⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他の特定機能病院等への立入り ( <input checked="" type="radio"/> 有 (病院名：鳥取大学医学部附属病院) ・ 無)</li> <li>・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ ( <input checked="" type="radio"/> 有 (病院名：横浜市立大学附属病院) ・ 無)</li> <li>・ 技術的助言の実施状況</li> <li>・ インシデントやアクシデントの報告等の状況報告された事例のフィードバックについて、リスクマネジャーの責任の下、職員一人一人が周知確認書に署名して、医療安全管理に返却する方策を取り入れた。</li> <li>・ 医療安全管理部と管理者との連携について、毎週病院長と医療安全管理責任者ならびに GRM が情報共有する会を定例で設けた。</li> <li>・ 病理診断、画像診断の未読/既読の確認状況を医療安全管理委員会で報告することとした。</li> <li>・ 夜間のバーコード認証方法の病院としての標準化については、電波状況に応じた対応としているが、一部機器の入れ替えを実施した。</li> <li>・ 病院開設者(学長)の監査委員会へ出席については、キャンパスが遠方のため困難であるが、学長への監査結果報告体制を整備した。</li> </ul>

## ⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

## ・体制の確保状況

患者相談室、地域医療連携室、がん相談支援センターにおいてGRM、ソーシャルワーカー、事務職員が相談窓口となり対応している。窓口活動については院内にポスターを掲示しパンフレットを配置するとともに、インターネットに掲載している。

## ⑫ 職員研修の実施状況

## ・研修の実施状況

## 【医療安全】

5/13「医療事故再発防止に向けた提言-気管切開・胃管に関連した死亡事例-」  
 6/18「RRTの活動について」  
 10/7「インシデント報告が病院を強くする」  
 10/15「意思決定能力の評価とアドバンス・ケア・プランニング」

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

## ⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

## ・研修の実施状況

公益財団法人日本医療機能評価機構主催の特定機能病院管理者研修に管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全責任者及び医療機器安全管理責任者が参加した。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

## 別紙

## 13. 医薬品に係る安全管理のための体制の確保

⑩医療法施行規則第9条の23第1項第3号に規定する事項

医薬品安全管理責任者が指名した担当者

氏名	職名	担当
山本奈歩	薬剤師	医薬品情報管理担当者
原 祐輔	薬剤師	調剤担当
坪内清貴	薬剤師	調剤担当
田中 祐子	薬剤師	調剤担当
橋本 さつき	薬剤師	調剤担当
板井 進悟	薬剤師	調剤担当
川上 貴裕	薬剤師	調剤担当
矢口 邦子	薬剤師	調剤担当
磯田 和也	薬剤師	調剤担当
中川 祐紀子	薬剤師	調剤担当
三坂 恒	薬剤師	調剤担当
志村 裕介	薬剤師	調剤担当
下川 頌子	薬剤師	調剤担当
西上 真	薬剤師	調剤担当
酒井 佳奈	薬剤師	調剤担当
西崎 綾菜	薬剤師	調剤担当
小竹 萌子	薬剤師	調剤担当
毛利 真子	薬剤師	調剤担当
野田 佳加	薬剤師	調剤担当
金 俊孝	薬剤師	調剤担当
西澤 理愛	薬剤師	調剤担当
スタッフ 由紀子	薬剤師	調剤担当
木山 美佳	薬剤師	調剤担当
二木 悠哉	薬剤師	調剤担当
寺田 早苗	薬剤師	調剤担当
北間 基子	薬剤師	調剤担当
長田 幸恵	薬剤師	病棟担当
坂田 明子	薬剤師	病棟担当
浅井 泰詞	薬剤師	病棟担当
高林 真貴子	薬剤師	病棟担当
磯田 紗弥香	薬剤師	病棟担当
塩本 佑季子	薬剤師	病棟担当
吉田 幸司	薬剤師	病棟担当
大西 あゆみ	薬剤師	病棟担当
加藤 彩香	薬剤師	病棟担当
島田 拓弥	薬剤師	病棟担当
高廣 理佳子	薬剤師	病棟担当
木村 円	薬剤師	病棟担当
伊藤 ゆり子	薬剤師	病棟担当
東 昂翔	薬剤師	病棟担当
中村 良恵	薬剤師	病棟担当
五十嵐 佑貴	薬剤師	病棟担当
水野 ふみ	薬剤師	病棟担当
堀 祐貴	薬剤師	病棟担当
山崎 京介	薬剤師	病棟担当
岡野 麻衣	薬剤師	病棟担当

## 規則第 7 条の 2 第 1 項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

## 管理者に必要な資質及び能力に関する基準

## ・ 基準の主な内容

- (1) 人格が高潔で、学識が優れている者
- (2) 医師免許を有している者
- (3) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者  
高度かつ先進的な医療を提供する特定機能病院の管理者として、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力を有するとともに次に掲げるいずれかの業務に従事した経験を有する者
  - ① 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者又は医療機器安全管理責任者の業務
  - ② 医療安全管理委員会の構成員としての業務
  - ③ 医療安全管理部門における業務
  - ④ その他病院全体に係る上記に準ずる業務
- (4) 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者  
病院の管理運営にあたり、金沢大学附属病院又は金沢大学附属病院以外での組織管理経験があり、病院職員の意見反映に留意しつつ、医療を取り巻く様々な外的変化に適切に対応し、強いリーダーシップを発揮できる者
- (5) 金沢大学附属病院の基本理念及び基本方針を確実に遂行できる者

・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (  有 ・ 無 )

## ・ 公表の方法

金沢大学附属病院Webサイトに掲載

## 規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無		有・無		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 )</li> <li>・ 公表の方法 金沢大学附属病院Webサイトに掲載</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
大竹 茂樹	金沢大学(理事)	○	金沢大学附属病院長候補者選考委員会規程第3条第1項第1号に基づく学長が指名する理事	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
中村 裕之	金沢大学医薬保健研究域(医薬保健研究域長)		同規程第3条第1項第2号に基づく役職指定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
堀 修	金沢大学医薬保健研究域(医薬保健学総合研究科長)		同規程第3条第1項第3号に基づく役職指定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
市村 宏	金沢大学医薬保健研究域(先進予防医学研究科長)		同規程第3条第1項第4号に基づく役職指定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
和田 隆志	金沢大学医薬保健研究域(医薬保健研究域医学系長)		同規程第3条第1項第5号に基づく役職指定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
國嶋 崇隆	金沢大学医薬保健研究域(医薬保健研究域薬学系長)		同規程第3条第1項第6号に基づく役職指定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
宮地 利明	金沢大学医薬保健研究域(医薬保健研究域保健学系長)		同規程第3条第1項第7号に基づく役職指定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
金子 周一	金沢大学医薬保健研究域(附属病院消化器内科長)		同規程第3条第1項第8号に基づき選出された診療科長	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
土屋 弘行	金沢大学医薬保健研究域(附属病院整形外科長)		同規程第3条第1項第8号に基づき選出された診療科長	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
谷内江 昭宏	金沢大学附属病院(医療安全管理部長)		同規程第3条第1項第9号に基づき選出された中央診療施設等の長	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
渡邊 真紀	金沢大学附属病院(看護部長)		同規程第3条第1項第10号に基づく役職指定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
大久保 進	金沢大学(病院部長)		同規程第3条第1項第11号に基づく役職指定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無

安田 健二	公益社団法人石川県医師会（会長）		同規程第 3 条第 1 項第 12 号に基づく 有識者 ※公益社団法人石川県医師会あて推薦依頼を行い、当該組織から推薦された者	有・ <input type="checkbox"/> 無
羽柴 厚	公益社団法人金沢市医師会（会長）		同規程第 3 条第 1 項第 12 号に基づく 有識者 ※公益社団法人金沢市医師会あて推薦依頼を行い、当該組織から推薦された者	有・ <input type="checkbox"/> 無
高田 重男	金沢市立病院（事業管理者・院長）（金沢大学関連病院長会会長）		同規程第 3 条第 1 項第 12 号に基づく 有識者 ※金沢大学関連病院長会あて推薦依頼を行い、当該組織から推薦された者	有・ <input type="checkbox"/> 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の  
設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無		
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>(1) 中期目標・中期計画及び年度計画に関する事項</p> <p>(2) 規程の制定又は改廃に関する事項</p> <p>(3) 予算及び執行並びに決算に関する事項</p> <p>(4) 自ら行う点検及び評価に関する事項</p> <p>(5) その他管理運営に関する事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>病院長が医局長会議（運営会議委員以外の全関係部署の代表者が出席）において、病院運営会議の内容を説明・報告し、運営会議委員又は医局長会議委員が各部署で周知している。</p> <p>会議資料は、金沢大学の教職員専用の会議資料管理システムで管理しており、関係者は常時閲覧可能となっている。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ）</p> <p>・公表の方法</p> <p>金沢大学附属病院Webサイトに掲載</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（ 有・<input checked="" type="checkbox"/>無 ）</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
蒲田 敏文	○	医師	附属病院長、検査部長、金大病院 CPD センター長
金子 周一		医師	消化器内科長、肝臓センター長、疾病予防センター長
篁 俊成		医師	内分泌・代謝内科長、糖尿病センター長、内分泌センター長
川野 充弘		医師	リウマチ・膠原病内科長
笠原 寿郎		医師	呼吸器内科長
高村 雅之		医師	循環器内科長、冠動脈疾患治療部長、ハートセンター長
坂井 宣彦		医師	腎臓内科長、血液浄化療法部長
中尾 眞二		医師	血液内科長、造血細胞移植センター長
野村 英樹		医師	総合診療科長、総合診療部長
山田 正仁		医師	脳神経内科長、電子顕微鏡センター主任
菊知 充		医師	神経科精神科長、子どものこころの診療科長
和田 泰三		医師	小児科長、周産母子センター長
香田 涉		医師	病院長補佐、放射線科長

高松 繁行		医師	放射線治療科長
松下 貴史		医師	皮膚科長
小室 明人		医師	形成外科長
小川 恵子		医師	漢方医学科長
竹村 博文		医師	副病院長、心臓血管外科長、ME機器管理センター長
松本 勲		医師	呼吸器外科長、材料部長
伏田 幸夫		医師	胃腸外科長
田島 秀浩		医師	肝胆脾・移植外科長、栄養管理部長
石川 聡子		医師	乳腺外科長
酒井 清祥		医師	小児外科
土屋 弘行		医師	副病院長、整形外科長
出村 諭		医師	脊椎・脊髄外科長
溝上 敦		医師	泌尿器科長
杉山 和久		医師	眼科長
吉崎 智一		医師	副病院長、耳鼻咽喉科・頭頸部外科長、研修医・専門医総合教育センター長
藤原 浩		医師	産科婦人科長
谷口 巧		医師	麻酔科蘇生科長、手術部長、集中治療部長、麻酔部長
中田 光俊		医師	脳神経外科長
絹谷 清剛		医師	副病院長、核医学診療科長、アイソトープ部長
川尻 秀一		歯科医師	歯科口腔外科長
八幡 徹太郎		医師	リハビリテーション科長、リハビリテーション部長
矢野 聖二		医師	副病院長、がんセンター長、がんゲノム医療センター長
後藤 由和		医師	救急科長、救急部長
池田 博子		医師	病理診断科長、病理部長
小林 聡		医師	放射線部長
山崎 宏人		医師	輸血部長
朝倉 英策		医師	高密度無菌治療部長
二宮 致		医師	光学医療診療部長
渡邊 淳		医師	遺伝診療部長
谷内江 昭宏		医師	副病院長、医療安全管理部長
加畑 多文		医師	地域医療連携室長
岩田 恭宜		医師	感染制御部長
北村 和哉		医師	炎症性腸疾患センター長
大坪 公士郎		医師	外来化学療法センター長
島上 哲朗		医師	地域医療教育センター長
村山 敏典		医師	病院長補佐、先端医療開発センター長、臨床開発部長
山田 圭輔		医師	緩和ケアセンター長
川島 博子		医師	乳腺センター長
崔 吉道		薬剤師	病院長補佐、薬剤部長
渡邊 真紀		看護師	副病院長、看護部長
長瀬 啓介		医師	病院長補佐、経営企画部長
大久保 進		事務職員	病院長補佐、病院部長
松浦 幸広		放射線技師	放射線部技師長

## 規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>・無 )</li> <li>・ 公表の方法 金沢大学附属病院Webサイトに掲載</li> <li>・ 規程の主な内容 【金沢大学附属病院規程第 3 条～第 4 条】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院長は本院を代表し、本院の経営及び管理運営等の業務を総括するとともに、職員等を指揮監督する。</li> <li>・ 病院長の任務は次のとおりとする。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 本院の運営、管理及び経営に関すること。</li> <li>(2) 診療部門長、診療科長、中央診療施設の長等の任命に関すること。</li> <li>(3) 診療科及び各中央診療施設等への人員配置に関すること。</li> <li>(4) 病院内組織の設置、廃止及び統合に関すること。</li> <li>(5) 病床、診察室等の配分及び利用形態に関すること。</li> <li>(6) 予算の院内配分に関すること。</li> </ol> </li> </ul> </li> <li>・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割 【金沢大学附属病院規程第 5 条】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 副病院長 7 名（病院長の職務を補佐） 医療安全／広報・地域医療連携／診療／総務・人事／臨床教育／研究／看護をそれぞれ担当</li> <li>【金沢大学附属病院規程第 5 条の 2】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院長補佐 6 名（病院長の指示する重要事項について病院長を補佐） 臨床研究開発／経営企画・医療情報／薬剤／院長業務補佐／事務／特命事項をそれぞれ担当</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況 【人事】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 副病院長は、運営会議の構成員のうちから病院長が指名し、学長が任命する。</li> <li>・ 病院長補佐は、病院長が任命する。</li> <li>・ 科長は、附属病院若しくは医学系の教授、准教授、講師又は助教で診療に従事する者又は附属病院に兼務する金沢大学の教授、准教授又は講師で病院長が認める者をもって充てる。</li> <li>・ 部長等は、附属病院若しくは医学系の教授で診療に従事する者又は附属病院に兼務する金沢大学の教授で病院長が認める者をもって充てる。ただし、やむを得ないときは、准教授、講師又は助教をもって充てることができる。</li> </ul> </li> <li>【研修】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国立大学附属病院長会議が実施する「病院長塾」や「病院経営次世代リーダー養成塾」に副病院長らが参加しているほか、同会議が実施する国立大学病院事務専門研修や国立大学附属病院経営分析ワークショップ等に職員を参加させ、人材育成を図っている。</li> <li>・ 日本医療機能評価機構が実施する特定機能病院管理者研修に病院長、副病院長及び病院長補佐が参加している。</li> <li>・ 事務系職員の一部について、法人の事務職員採用試験において病院事務職員に特化したエキスパート枠を設け、採用試験を実施している。</li> </ul> </li> </ul>

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する  
状況

監査委員会の設置状況		(有)・無			
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療安全管理責任者，医療安全管理部門，医療安全管理委員会，医薬品安全管理責任者，医療機器安全管理責任者等の業務の状況について附属病院長(以下「病院長」という。)等から報告を求め，又は必要に応じて自ら確認を実施すること。</p> <p>(2) 必要に応じ，学長又は病院長に対し，医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。</p> <p>(3) 前 2 号に掲げる業務について，その結果を公表すること。</p> <p>(4) その他医療に係る安全管理の監査に関し必要な事項</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・ 公表の方法： 金沢大学附属病院 Web サイトに掲載</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
長島 久	富山大学附属 病院	○	医療の質・安全推進部長として医療安全に関する業務に従事しているため	有・(無)	1
麻生 小夜	金沢あおば法律事務所		弁護士として法律に関する専門知識に基づき、業務を行っているため	有・(無)	1

和田 真由 美	血液疾患の患者の会「萌の会」		「萌の会」の代表として活動しており、医療を受ける立場から意見を述べるができるため	有・ <input checked="" type="radio"/>	2
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

## 規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

## 管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容  
金沢大学内部監査において業務監査及び会計監査を定期的を実施しており、附属病院も対象となっている。

・ 専門部署の設置の有無 (  ・ 無 )

・ 内部規程の整備の有無 (  ・ 無 )

・ 内部規程の公表の有無 (  ・ 無 )

・ 公表の方法

金沢大学附属病院Webサイトに掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 金沢大学経営協議会において、法人の経営に関する重要事項、予算の作成・執行及び決算に関する事項、組織及び運営の状況に係る自己点検・評価に関する事項等を審議している。</li> <li>・ 会議体の実施状況（年6回（令和元年度実績））</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="checkbox"/>・無）（年4回（令和元年度実績））</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</li> <li>・ 公表の方法 金沢大学附属病院Webサイトに掲載</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称： 国立大学法人金沢大学経営協議会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
山崎 光悦	金沢大学学長	○	有・ <input type="checkbox"/> 無
大竹 茂樹	金沢大学理事・副学長		有・ <input type="checkbox"/> 無
和田 隆志	金沢大学理事・副学長		有・ <input type="checkbox"/> 無
大西 啓介	金沢大学理事・副学長		有・ <input type="checkbox"/> 無
村井 淳志	金沢大学人間社会研究域長		有・ <input type="checkbox"/> 無
森本 章治	金沢大学理工研究域長		有・ <input type="checkbox"/> 無
中村 裕之	金沢大学医薬保健研究域長		有・ <input type="checkbox"/> 無
蒲田 敏文	金沢大学附属病院長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
上村 大輔	神奈川大学特別招聘教授		有・ <input type="checkbox"/> 無
大橋 徹二	コマツ代表取締役会長		有・ <input type="checkbox"/> 無
河田 悌一	一般社団法人大学資産共同運用機構理事長		有・ <input type="checkbox"/> 無
後藤 ひとみ	愛知教育大学特別執行役		有・ <input type="checkbox"/> 無
小松 親次郎	桜美林大学総合研究機構教授		有・ <input type="checkbox"/> 無
中西 吉明	石川県副知事		有・ <input type="checkbox"/> 無
原田 明久	ファイザー株式会社代表取締役社長		有・ <input type="checkbox"/> 無
村山 卓	金沢市副市長		有・ <input type="checkbox"/> 無

矢部 彰	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発 機構技術戦略研究センターフェロー		有・ <input type="checkbox"/> 無
山内 雅喜	ヤマトホールディングス株式会社取締役会長		有・ <input type="checkbox"/> 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

## 規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> ・ 無 )</li><li>・ 通報件数 ( 年 0 件 )</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="radio"/> ・ 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="radio"/> ・ 無 )</li><li>・ 周知の方法 職員宛てメールにて周知している。</li></ul>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 機関名：公益財団法人日本医療機能評価機構 時期：平成 27 年 5 月 ※令和 2 年 5 月に認定更新のための受審を予定していたものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により受審延期となっている。(令和 3 年 3 月に受審予定)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 本院Webサイトにて情報発信を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 糖尿病及び糖尿病性腎症の重症化予防に取り組む糖尿病透析予防チーム、高度な栄養管理をチームとして実施する栄養サポートチーム、悪性腫瘍等の患者のうち、身体的症状又は精神症状を持つ者に対して症状緩和に係る専従のチームとして緩和ケアチーム、褥瘡の予防及び褥瘡発生時における適正な処理を図るため褥瘡対策チームを置いている。平成 30 年度には、これまでの院内感染制御チーム (ICT) に加えて、新たに抗菌薬適正使用支援チーム (AST) を組織し、院内感染に対応する体制をさらに充実させた。そのほか、倫理的な問題を検討する場、解決困難な倫理的問題への医療者の相談対応・解決への支援を行う体制として、臨床倫理コンサルティングチームを設置している。	

(様式第 8)

金大病総第 42 号  
令和 2 年 9 月 30 日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人金沢大学長  
山崎 光悦 (印)

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

公益財団法人日本医療機能評価機構が主催する研修に参加させる予定である。

2. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（4）名、専任（2）名、兼任（11）名  
うち医師：専従（1）名、専任（2）名、兼任（4）名  
うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名  
うち看護師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（3）名  
うち事務職員：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名  
うち臨床工学技士：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名  
うち診療放射線技師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

今後の専従職員の配置については未定である。